JVC

# JVC ProHD Clip Manager

## ユーザーズガイド

LST0857-001B

# もくじ


## はじめに

もくじ ..... 2
ソフトウェア使用許諾契約書 ..... 4

## Windows の場合の使いかた

動作環境 ..... 5
ソフトウェアのインストール ..... 5
起動と終了 ..... 5
各部の名前とはたらき ..... 6
操作ウィンドウの構成 ..... 6
情報ウィンドウ ..... 7
Viewer（ビューアー）ウィンドウ ..... 8
Clip Manager を使ったクリップの操作手順の流れ ..... 9
作業対象メディア / フォルダーの選択 ..... 10
ツリー表示部で選択する ..... 10
ルートフォルダー変更ダイアログで選択する ..... 10
フォルダー / メディアの操作 ..... 11
MP4 ファイルフォーマットのクリップの フォルダーについて ..... 11
フォルダーを作成する ..... 11
フォルダーを削除する ..... 12
フォルダーを分割する ..... 12
フォルダーを結合する ..... 13
メディアやフォルダー内のクリップを まとめてコピーする ..... 13
クリップの操作 ..... 14
クリップをコピーする ..... 14
クリップを移動する ..... 15
クリップを削除する ..... 16
分割されたクリップを連結する ..... 16
クリップをインポートする ..... 17
クリップをエクスポートする ..... 18
クリップの内容をプレビューする ..... 19
クリップの代表画を変更する ..... 19
クリップを検索する ..... 20
クリップの情報を参照する ..... 20
付録 ..... 22
記録フォーマットと記録フォルダーについて ..... 22
環境設定 ..... 23
解像度設定 ..... 23
ショートカットキー一覧 ..... 24

## Mac OS の場合の使いかた

動作環境 ..... 27
ソフトウェアのインストール ..... 27
起動と終了 ..... 27
各部の名前とはたらき ..... 28
操作ウィンドウの構成 ..... 28
情報ウィンドウ ..... 29
Viewer（ビューアー）ウィンドウ ..... 30
Clip Manager を使ったクリップの操作手順の流れ ..... 31
作業対象メディア / フォルダーの選択 ..... 31
ツリー表示部で選択する ..... 31
ルートフォルダー変更ダイアログで選択する ..... 32
フォルダー / メディアの操作 ..... 32
MP4 ファイルフォーマットのクリップの フォルダーについて ..... 32
フォルダーを作成する ..... 32
フォルダーを削除する ..... 34
フォルダーを分割する ..... 34
フォルダーを結合する ..... 35
メディアやフォルダー内のクリップを まとめてコピーする ..... 35
クリップの操作 ..... 36
クリップをコピーする ..... 36
クリップを移動する ..... 37
クリップを削除する ..... 38
分割されたクリップを連結する ..... 38
クリップをインポートする ..... 39
クリップをエクスポートする ..... 40
クリップの内容をプレビューする ..... 41
クリップの代表画を変更する ..... 41
クリップを検索する ..... 42
クリップの情報を参照する ..... 42
付録 ..... 44
記録フォーマットと記録フォルダーについて ..... 44
環境設定 ..... 45
ショートカットキー一覧 ..... 46

ご使用の前にこの [ ユーザーズガイド ] をお読みのうえ、正しくお使いください。

## ■ JVC ProHD Clip Manager について

- JVC ProHD Clip ManagerはJVCが提供するProHDシリーズのメモリーカードを使用するレコーダー機器で収録した MP4 ファイルフォーマットのクリップを操作するためのソフトウェアです。
- 本ソフトウェアを使用すると、メモリーカードに収録されたクリップをコンピューターのハードディスクなどにコピーしたり、クリップの整理をすることが簡単に行うことができます。また、クリップのフォーマットを変換したり、内容のプレビューしたり、クリップに付属するメタデータを参照、操作することもできます。

**メモ:**

- ProHDシリーズのレコーダー機器でメモリーカードに収録した素材は、バックアップや将来の再利用のためにあらかじめハードディスクなどにすべてコピーしておくことをおすすめします。
- メモリーカードに収録された素材を安全にコピーするためには、以下のような手順をおすすめします。
  - ① あらかじめ、メモリーカードごとのフォルダーを新規作成する
  - ② ① で作成したフォルダー上に、メモリーカードの素材をすべてコピーする
  - ③ 他のメモリーカードをコピーする場合は別のフォルダーを新規作成してそこにコピーする
- メモリーカードに収録された素材を安全にコピーする方法の詳細については、下記をお読みください。
  - Windows : (☞ 9～26 ページ )
  - Mac : (☞ 31～48 ページ )

## ■ JVC ProHD Clip Manager ソフトウェアのおもな機能

- MP4 ファイルフォーマットのクリップの操作
  - クリップのコピー（メモリーカードのすべてのクリップ、任意のクリップのコピーなど）
  - クリップの移動、削除
  - クリップの内容プレビュー
  - クリップのメタデータ参照、操作
- クリップが保存されているフォルダーの管理
  - 新規フォルダーの作成
  - フォルダーの削除、分割、結合

### このユーザーズガイドの見かた

#### ■ 本文中の記号の見かた

ご注意 : 操作上の注意が書かれています。

メモ : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

☞ : 参考ページや参照項目を示しています。

#### ■ 本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

#### ■ 商標について

- Microsoft、Windows、および Microsoft Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac OS は、米国および他の国々で登録された、Apple Inc. の商標です。
- Intel、Pentium、および Core は、アメリカ合衆国および他の国における Intel Corporation の登録商標です。Core は、アメリカ合衆国および他の国における Intel Corporation の商標です。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。

# ソフトウェア使用許諾契約書

HD メモリーカード　カメラレコーダーまたはメモリーレコーダーをご利用になる前に、以下の「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。

## ソフトウェア使用許諾契約書

日本ビクター株式会社（以下「弊社」といいます）は、お客様に、弊社 HD メモリーカード　カメラレコーダーまたはメモリーレコーダー（以下「本製品」といいます）専用の JVC ProHD Clip Manager（以下「本ソフト」といいます）を使用する権利を下記の条件で許諾します。

***1*** 著作権

本ソフトに関する著作権等の知的財産権は、弊社に帰属し又は第三者から正当なライセンスを得たものであり、本ソフトは、日本、アメリカ合衆国およびその他の国の著作権法ならびに関連する条約によって保護されています。

***2*** 権利の許諾

① お客様は、本契約の条項に従って、本製品とともに本ソフトを使用する非独占的な権利を本契約に基づき取得します。

② お客様は、お客様のコンピューターに搭載された ＨＤＤ その他の記憶装置に本ソフトをインストールし、使用することができます。

③ お客様は、本ソフトをバックアップまたは保存の目的において複製することができます。

***3*** 制限事項

① お客様は、いかなる方法によっても、本ソフトの改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルをすることはできません。
ただし、適法と認められる場合はこの限りではありません。

② お客様は、本契約書に明示的に許諾されている場合を除いて、本ソフトを全部または一部であるかを問わず、使用、複製することはできません。

③ お客様には本ソフトを第三者に使用許諾する権利はなく、またお客様は本ソフトを第三者に販売、貸与またはリースすることはできません。

***4*** 限定保証

本ソフトは、一切の保証なく、現状で提供されるものであり、弊社はその商品性、特定用途への適合性をはじめ、明示的にも黙示的にも本ソフトに関して一切保証しません。本ソフトに関して発生するいかなる問題も、お客様の責任および費用負担により解決されるものとします。

***5*** 責任の制限

弊社は、本契約その他いかなる場合においても、本ソフトに関連する結果的あるいは付随的損害（損害発生につき弊社が予見し、または予見し得た場合を含みます）について、一切責任を負いません。お客様は、本ソフトの使用に関連して第三者からお客様になされた請求に関連する損害、損失あるいは責任より弊社を免責し、保証するものとします。

***6*** 契約期間

① 本契約は、お客様が本ソフトをお客様のコンピューターにインストールされた日を以て発効し、本条第２項の規定により弊社が解除しない限り有効に存続するものとします。

② お客様が本契約のいずれかの条項に違反したときは、弊社は、お客様に対し、催告を行うことなく直ちに本契約を解除することができます。その場合、弊社は、お客様の違反によって被った損害をお客様に請求することができます。なお、本契約が終了したときには、お客様は直ちにお客様のハードウェアに保存されている本ソフトを破棄（お客様のコンピューター上のメモリーからの消去を含みます）するものとします。

***7*** 輸出管理

お客様は、日本ならびにその他の関係国が、本ソフトあるいはそれに含まれる情報・技術を、輸出禁止ないし制限している国、地域並びに物に対して、輸出、出荷しないことに同意します。

***8*** その他

① 弊社の正当な代表者が署名した書面による場合を除き、本契約のいかなる修正、変更、追加、削除その他改変も無効とします。

② 本契約のいずれかの規定が法律で無効とされた場合も、他の規定は依然有効とします。

③ 本契約は日本国法を準拠法とします。本契約に関連または起因する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所としてこれを解決するものとします。

# 動作環境

本ソフトウェアを使用するためには、以下に示すコンピューター環境が必要です。

| 項目 | 条件 |
|---|---|
| プロセッサー | Intel Core 2 Duo 2GHz 以上推奨 |
| メモリー | 2GB 以上を推奨 |
| OS | Microsoft Windows XP SP3 以降、または Microsoft Windows Vista SP1 以降（32bit 版） |

# ソフトウェアのインストール

## CD-ROM からインストールする場合

***1*** **付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる**

***2*** **マイコンピューターなどで CD-ROM の内容を見て、[Software]➡[ClipManager]➡[Windows]➡[Japanese] フォルダーにある [Setup.exe] を実行する**

- セットアップウィザード画面が表示されますので、それ以降は画面に従ってインストールを実行してください。
- はじめに本ソフトウェアの使用許諾契約書画面が表示されますので、内容に同意する場合は [ 同意する ] を選択してインストールを進めてください。
- 途中、[.NET Framework 2.0] をインストールするメッセージが出た場合は、使用許諾契約を読み、[ 同意する ] を選択して [.NET Framework 2.0] をインストールしてください。

## ソフトウェアのアンインストール

Windows の [ コントロールパネル ] から [ プログラムの追加と削除 ] を選択し、リストから [JVC ProHD Clip Manager] を選択して [ 削除 ] を実行してください。

# 起動と終了

## ソフトウェアを起動する

デスクトップのショートカットアイコンをダブルクリックし、ソフトウェアが起動すると操作ウィンドウが表示されます。(☞ 6 ページ )

## ソフトウェアを終了する

次のいずれかを実行します。

- [ ファイル ] メニューで [ 終了 ] を選択する。
- 操作ウィンドウの右上隅にある [ × ]（閉じる）ボタンをクリックする。

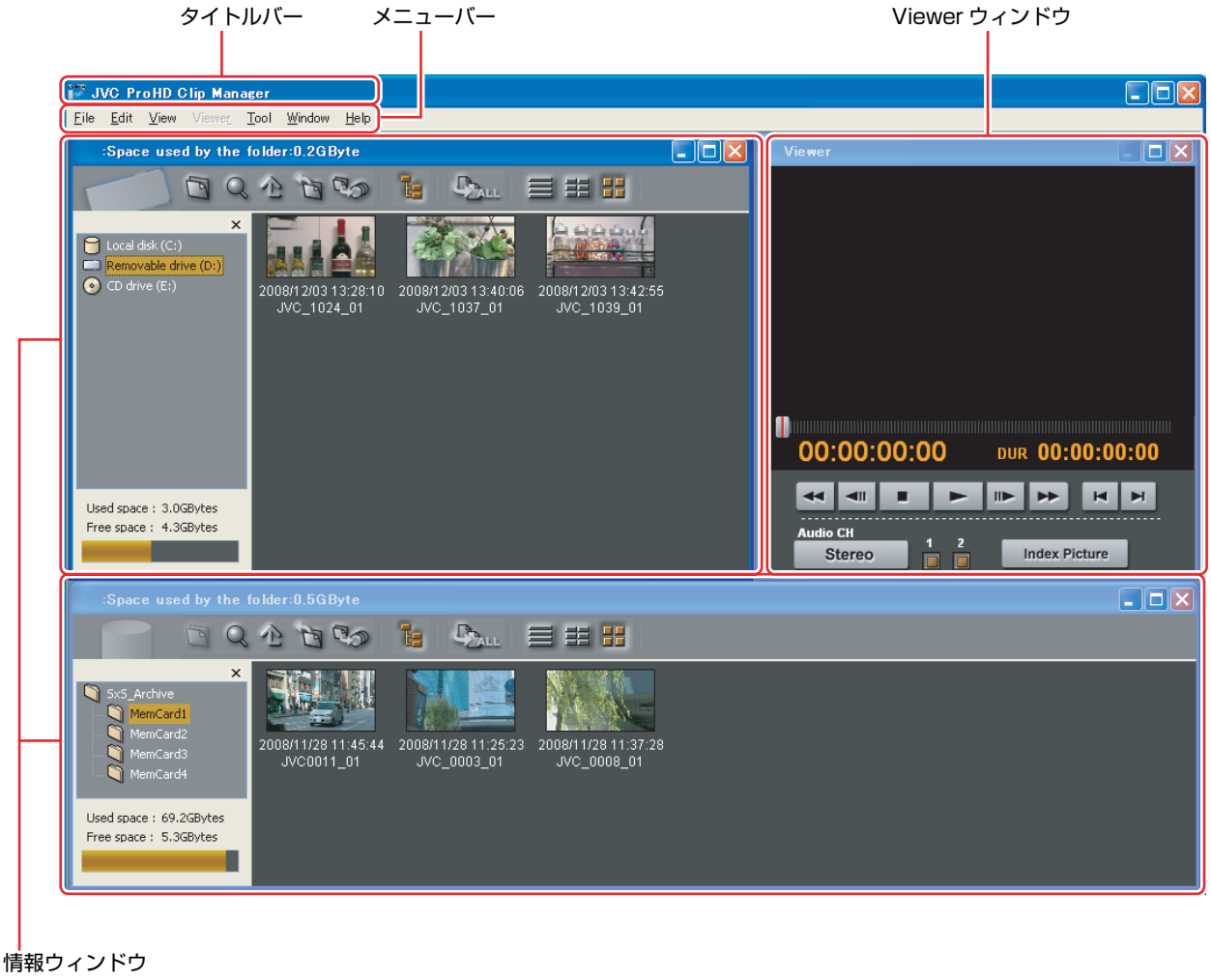
**ご注意:**

- ファイル操作が行われているときに、コンピューターの電源を切らないでください。ファイルが壊れる可能性があります。操作の終了を待つか、操作をキャンセルしてから電源を切ってください。

# 各部の名前とはたらき

## 操作ウィンドウの構成

ソフトウェアを立ち上げると下記のような画面が表示されます。
本書では、英語表示設定の画面で説明しますが、ソフトウェアは言語の設定を日本語にすることもできます。
(☞23 ページ [ 環境設定 ])



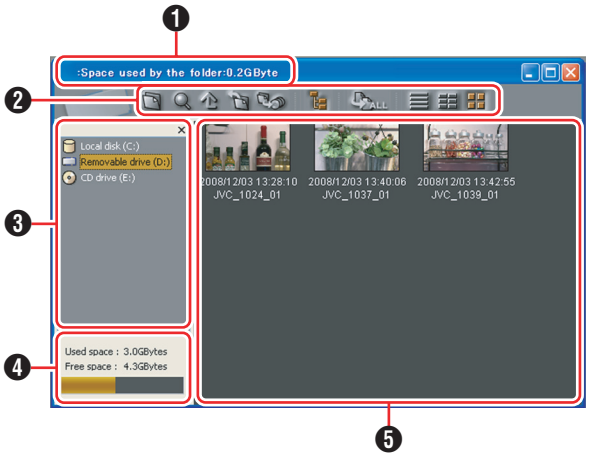

**メモ:**

- 各情報ウィンドウはお使いの環境に応じて大きさを変更したり、位置を変更したり自由にカスタマイズできます。(☞ 7 ページ)
- 構成を初期状態に戻すにはウィンドウメニューで [ 表示位置の初期化 ] を選択します。
- カスタマイズしたウィンドウ構成は、次回ソフトウェアを起動したときに再現されます。
- Viewer ウィンドウの大きさは変更できません。ただし、再生中に最大化ボタンを押すと、全画面再生を行うことができます。

## 情報ウィンドウ

メディアやフォルダー内のクリップの一覧が表示されます。クリップの内容を確認したり、コピー、削除などの操作を行います。

デフォルトで 2 画面分の情報ウィンドウが表示できますので、例えばメモリーカードからハードディスクへのクリップのコピーがクリップのアイコンをドラッグ＆ドロップすることで簡単に操作できます。情報ウィンドウは以下のような構成になっています。




**ご注意:**

- ソフトウェアの動作環境に応じて文字コードに対応するフォントを選択していないと、文字化けが生じます。あらかじめオプションダイアログで適切なフォントおよび文字コードを選択してください。
- フォントによっては、改行文字が表示されます。詳しくは、[ 環境設定 ] (☞23 ページ ) をご覧ください。

### ❶ メディア名、使用容量表示

メディア、またはフォルダーにつけた名前とその中に収録されているクリップおよび関連データの使用容量を表示します。

### ❷ ツールバー

クリップやフォルダーの操作に使用するツールボタンが配置されています。

| ツールボタン | | 機能 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| アイコン | 名称 | | |
| | フォルダー作成 | 現在選択されている場所に、フォルダーを新規作成します。 | ☞ P 11 |
| | 検索 | クリップ検索画面がひらき、タイトルや日付などで希望のクリップを検索できます。 | ☞ P 20 |
| | 上へ | 1 つ上のフォルダーへ移動します。 | — |
| | ルートフォルダー変更 | ツリー表示部のルートフォルダーを変更します。 | — |
| | フォルダー分割 | フォルダーを選択された容量に分割します。 | ☞ P 12 |
| | フォルダー表示 | ツリー表示部の表示／非表示を切り換えます。 | — |
| | 全コピー | メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーします。 | ☞ P 13 |
| | リスト表示設定 | リスト表示部を下記の様に切り換えます。<br>: 詳細表示<br>: 一覧表示<br>: サムネイル表示 | — |

### ❸ ツリー表示部

リムーバブルメディアやハードディスクドライブなどのフォルダー構成を 2 階層分表示します。

下の階層のフォルダーをダブルクリックすると、そのフォルダーがルートフォルダーとなり、その下の階層が表示されます。クリップが保存されているメディアやフォルダーが選択されると、リスト表示部にサムネイルなどのアイコンが一覧表示されます。

### ❹ 容量表示

ツリー表示部で選択されているメディアの総容量と空き容量を表示します。空き容量は数値とバーグラフで表示され、メディアの使用容量が増えるとオレンジのバーが長くなります。

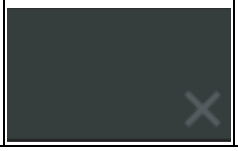
# 各部の名前とはたらき（つづき）

❺ リスト表示部

ツリー表示部で選択されているメディアやフォルダーに保存されているクリップが一覧表示されます。

表示は、❷ ツールバーのリスト表示設定にあるように、詳細表示、一覧表示、サムネイル表示の 3 種類の方法が選択できます。

クリップのステータスを示すマークが、以下の図のようにサムネイル上に表示されます。一覧表示／詳細表示の場合も同様です。

| 表示形式 | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| サムネイル表示 | | 通常のクリップ |
| | | OK マーク付きクリップ（レコーダー機器で OK マークを設定した）※1 |
| | | 分割されたクリップの一部（周囲に枠が表示される）※2 |
| | | MP4 ファイルのインポートクリップ |
| | | MP4 ファイルの未登録クリップ（まだインポートされていないクリップ） |
| |  | 異常クリップ※3、4 |

※1　：本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも移動または削除されます。

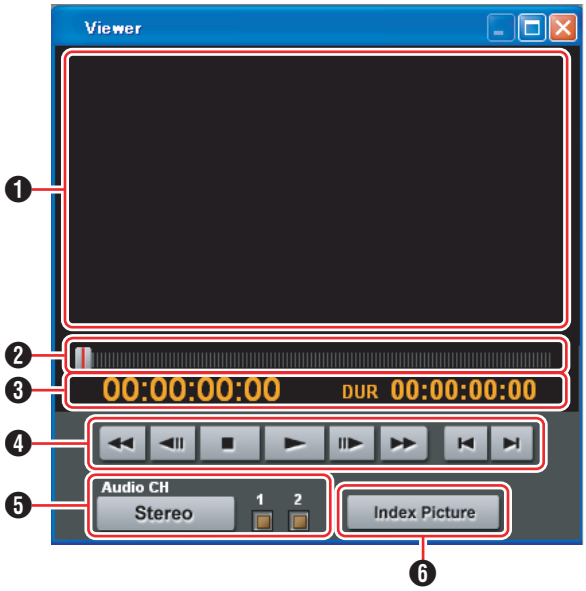
※2　：4GB を超える映像ファイルは自動的に複数のクリップとして保存されます。それぞれのクリップは複数のメディアに分割して記録された一部分となり、不足している画像部分は再生されません。

※3　：ファイルが壊れている、ファイルの関連付けが切れている（変更されている）、必要なファイルが不足している、サムネイルが作成できないなどの原因により、本ソフトウェアで再生 / 表示できないクリップ

※4　：他のアプリケーションがクリップのファイルを使用しているとき

## Viewer（ビューアー）ウィンドウ

このウィンドウ上で、選択したクリップのプレビューなどの操作を行います。操作ボタンを使い、通常再生、早送り巻き戻しなどサーチの確認ができます。




### ❶ スクリーン

再生画を表示します。

### ❷ ポジションバー

クリップ上の現在位置を示します。つまみを任意の位置にドラッグするか、またはポジションバー上の任意の場所をクリックして、その位置に移動することができます。

### ❸ タイムコード表示

ポジションバーの位置のタイムコードとクリップのデュレーション（DUR）の値を表示します。

**ご注意：**

- 未登録クリップでは、25fps でカウンターが動作します。
- インポートクリップでは、00:00:00:00 からカウントを開始します。

### ❹ プレビュー操作ボタン

クリップのプレビュー操作を行うボタンです。図の左から、以下のようなボタンと機能になります。

巻き戻しボタン　：現在位置より前の映像をサーチします。
1 コマ戻しボタン：現在位置から 1 フレーム戻ります。
停止ボタン　　：現在位置で再生を停止します。
再生ボタン　　：現在位置から通常再生します。
1 コマ送りボタン：現在位置から 1 フレーム送ります。
早送りボタン　：現在位置より後の映像をサーチします。
先頭フレーム移動ボタン
　　：クリップの先頭位置に移動します。
最終フレーム移動ボタン
　　：クリップの最終位置に移動します。

### ❺ [Audio CH]（オーディオチャンネル）選択部

[Stereo]（ステレオ）/[Monaural]（モノラル）ボタンをクリックして、[Stereo]（ステレオ）表示の場合は両チャンネルの音声が出力されます。[Monaural]( モノラル ) 表示の場合は CH1 あるいは CH2 のみを選択して音声出力することができます。

### ❻ [Index Picture]（代表画）ボタン

プレビューしているクリップのサムネイル画を、スクリーンに表示している静止画に変更できます。ただし、ここでの設定は機器で表示されるサムネイル表示には正しく反映されません。

**ご注意:**

- このウィンドウで行う再生はプレビュー再生です。以下の点にご注意ください。
  - コンピューターの性能や使用状況によっては、コマ落ちしたり、タイムコードが実際の値とずれることがあります。
  - クリップが不完全な状態の場合、再生時に画像が乱れたり、フリーズすることがあります。
  - 分割されたクリップの場合は、不足している画像部分は再生されません。
  - お使いの機器以外で作成したクリップについては、再生できない場合があります。
  - 再生画像の色が異常なときは、ソフトウェアを終了してから、コンピューターの画面の設定（プロパティ）で画面の色のパラメーターを変更してみてください。正常な色になる場合があります。
  - 再生中にコンピューターの画面の設定（プロパティ）を変更すると、画像が正しく再生できなくなることがあります。その場合は、ソフトウェアを再起動してください。
  - ノートタイプコンピューターなどで、コンピューター自身のモニターと外部モニターに同時に画像を表示しようとしても表示されないことがあります。

# Clip Manager を使ったクリップの操作手順の流れ

ここでは、本ソフトウェアの対象となる、MP4 ファイルフォーマットで収録されたクリップの操作手順について説明します。

**ご注意:**

- クリップのコピーや削除などの操作は、必ず本ソフトウェアを使って行なってください。収録されたファイルには映像／音声が記録されたクリップ（MP4 ファイル）以外にも幾つかの情報ファイルがあるため、別の方法で操作すると正常な画ファイル管理ができなくなる場合があります。

クリップを操作する基本的な手順は、以下のような流れとなります。

| | |
|---|---|
| Step 1 | **作業対象メディア／フォルダーの選択** (☞ 10 ページ)<br>操作するクリップが保存されているメディア、またはフォルダーを選択し、情報ウィンドウに一覧表示させます。 |

▼

| | |
|---|---|
| Step 2 | **メディア / フォルダーの操作** (☞ 11 ページ)<br>作業対象となるフォルダー、例えばコピー先フォルダーを選択、または新規作成します。<br>メディア / フォルダーの全クリップをコピーしたり、バックアップをとります。 |

▼

| | |
|---|---|
| Step 3 | **クリップの操作** (☞ 14 ページ)<br>必要に応じて、メディア / フォルダーに保存されているクリップごとにツールバーのボタンなどを使いコピー、移動、削除などの操作を行います。 |

# 作業対象メディア / フォルダーの選択

クリップが保存されているメディア、またはメディア内のフォルダーの選択のしかたについて説明します。

選択操作には、情報ウィンドウのツリー表示部で指定する方法とルートフォルダー変更ダイアログで指定する方法があります。

メモ:

- 本書では、次の記録媒体をメディアとよびます。
  - SxS メモリーカード
  - USB メモリー
  - SDHC メモリーカード
  - コンピューターに内蔵されているハードディスク
  - 外付けハードディスク
  - CD-R
  - DVD-R
  - Blu-ray Disc

## ツリー表示部で選択する

### *1* 情報ウィンドウのツリー表示部で、メディアまたはフォルダーをダブルクリックする

- ダブルクリックしたメディアまたはフォルダーの下の階層が表示されます。ツリー表示部では、メディアおよびフォルダーの構成が 2 階層ずつ表示されます。
- メディア内に直接クリップが保存されている場合は、内容がリスト表示部に表示されます。

### *2* 下の階層のフォルダーをダブルクリックする

- ダブルクリックしたフォルダーがルートフォルダーとなり、1 つ下の階層が表示されます。

■ 1 つ上の階層に戻るには

[ 表示 ] メニューで [ 上へ ] を選択するか、ツールバーで上へボタンをクリックします。

### *3* 必要に応じて手順 *2* を繰り返す

- 選択したフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

## ルートフォルダー変更ダイアログで選択する

### *1* [表示] メニューで [ルートフォルダー変更] を選択するか、ツールバーでルートフォルダー変更ボタンをクリックして [ ルートフォルダー変更 ] ダイアログを開く

### *2* ダイアログ内のツリー表示で、メディアまたはフォルダーを選択する

### *3* [OK] をクリックする

- [ ルートフォルダー変更 ] ダイアログが閉じ、選択したメディアまたはフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

■ 選択したメディアやフォルダーにクリップが存在しないときは

リスト表示部がサムネイル表示になっているときは何も表示されません。

一覧表示または詳細表示になっているときは、“ 表示する Clip がありません ” というメッセージが表示されます。

ご注意:

- メディアを選択したときに、“ 修復が必要なワークフォルダまたはメディアです ” や “ 記録を行った装置で修復を実行してください ” のメッセージが表示されることがあります。この場合、記録中に機器の電源を切ったり、記録メディアを抜いたことにより、メディアのデータが不完全な状態になっています。メディアを記録した機器に戻してすぐにデータを復旧させてください。データを復旧させないまま操作を続けると、データが復旧できなくなります。

# フォルダー / メディアの操作

ご注意:
- 処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。
  - コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
  - 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

## MP4 ファイルフォーマットのクリップのフォルダーについて

クリップが収録されているフォルダーには、BPAV フォルダー (☞ 22 ページ ) が存在します。(情報ウィンドウには表示されませんが、エクスプローラで見ることができます。)

本ソフトウェアでは、クリップをコピーしたり、移動するときは、BPAV フォルダーも一緒にコピーまたは移動します。BPAV フォルダーと切り離してクリップだけを操作することはできません。

ご注意:
- ネットワーク機能を使用して、複数のコンピューターから同時に同じフォルダーを操作すると、ファイルがアクセス不能になることがあります。

## フォルダーを作成する

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ ) を参照して、フォルダーを作成したいメディアまたはフォルダーを選択する (ツリー表示部でルートフォルダーにする)

**2** ルートフォルダーにフォーカスがある状態で、[ ファイル ] メニューから [ フォルダ作成 ] を選択するか、ツールバーでフォルダー作成ボタンをクリックする

- 手順 *1* で選択したメディアまたはフォルダー内に、新規フォルダーが作成されます。

■ フォルダーが作成できないときは

以下に示す状況では、フォルダーは作成されず、メッセージが表示されます。

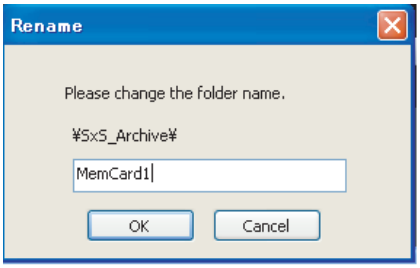
- 手順 *1* で選択したメディア / フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 手順 *1* で選択したメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

ご注意:
- クリップが保存されているフォルダー上に、別の保存用フォルダーを作成することはできません。必ずその 1 つ以上上のフォルダーに作成してください。
  例) Archive フォルダーを作業フォルダーのルートとして、その上にメディアごと、あるいは管理ごとのフォルダーを作成する (Media1, Media2, など)
- [ マイコンピューター ] をルートフォルダーにしてフォルダーを作成することはできません。
- コンピューターのファイルシステム上、書き込みができないファイルシステムでは、フォルダーを作成することはできません。
- フォルダーの作成直後は通常のフォルダーと同じですが、クリップのコピーや移動などを 1 度でも行うと、自動的に機器と同じ形式のワークフォルダーにフォーマットされます。(必要なフォルダーやメタデータファイルが自動的に作成されます。)
- "BPAV" という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字および "$" は使用できません。

■ フォルダー名を変更するには

**1** 作成したフォルダーを選択し、[ ファイル ] メニューで [ フォルダ名変更 ] を選択する

- [ フォルダ名変更 ] ダイアログが表示されます。




**2** エディットボックスに希望のフォルダー名を入力する (英数字と記号で 80 文字まで入力可能)

ご注意:
- "BPAV" という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字および [$] は使用できません。

**3** [OK] をクリックする

# フォルダー / メディアの操作（つづき）

## フォルダーを作成する（つづき）

### ■ フォルダーのバックアップを作成するには

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択]（☞10ページ）を参照して、バックアップを作成したいフォルダーを選択する

**2** [ファイル]メニューで[保存フォルダを開く]を選択する

- エクスプローラが表示されます。

**3** エクスプローラでバックアップ作成の操作を行う

**フォルダーの容量が大きいため、1つのメディア / フォルダーに保存できないときは**

フォルダーを分割することにより、複数のディスクに分けてバックアップを作成することができます。分割されたフォルダーは再結合して元に戻すことができます。

**メモ:**

- 詳しくは、[フォルダーを分割する]（☞12ページ）および[フォルダーを結合する]（☞13ページ）をご覧ください。

## フォルダーを削除する

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択]（☞10ページ）を参照して、削除したいフォルダーを選択する

**2** Deleteキーを押すか、[編集]メニューで[削除]を選択する

**フォルダーを削除できないときは**

以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。

- 選択したフォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 選択したフォルダーが書き込み禁止になっている。
- 選択したフォルダーの直下に、クリップや他のフォルダーが存在する。※1

**ご注意:**

- フォルダーを削除すると、フォルダー内の全データが削除されますので注意してください。
- いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

※1　:選択したフォルダーが削除できない例
- ●対象のフォルダーに関連付けられていないファイルなどがあるとき
- ●対象のフォルダーに他のワークフォルダーがあるとき

これらの場合は、関連付けられていないファイルや他のワークフォルダーを削除する必要があります。

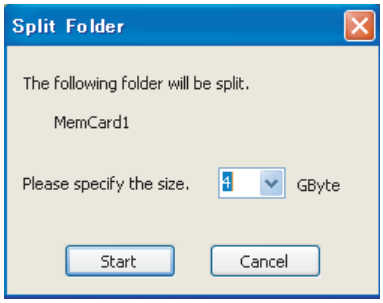
## フォルダーを分割する

フォルダーを分割してクリップを分散させて保存することにより、各フォルダーの記録容量を小さくすることができます。フォルダー内の全データを、フォルダーよりも小さい容量のメディアにバックアップする場合に使用します。たとえば、8GB のフォルダーを 4GB の DVD-R メディアにバックアップする場合、4GB のフォルダー 2 つに分割します。フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択]（☞10ページ）を参照して、分割したいフォルダーを選択する

**2** [編集]メニューで[フォルダー分割]を選択するか、ツールバーでフォルダー分割作成ボタンをクリックする

- [フォルダー分割]ダイアログが表示されます。




**ご注意:**

- フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。分割後のフォルダーが指定した容量になるように、クリップが振り分けられます。したがって、フォルダー内にある一番大きなファイルサイズ以下のフォルダーサイズを指定することはできません。
- 4GB 未満のサイズも指定できません。

**3** 分割後のフォルダーの容量を、ドロップダウンリストで指定する

**4** [開始]をクリックする

- 4GB から 60GB まで、4GB 単位で選択できます。
- 指定したフォルダーの容量に応じて、分割数が最小となるようにフォルダーが分割され、クリップが各フォルダーに振り分けられます。分割の結果生成されたフォルダーには、元のフォルダー名に通し番号が付加された名前が自動的に設定されます。

**ご注意:**

- いったん分割を開始したら中断（キャンセル）することはできません。
- ファイル分割されているクリップは、それぞれ別のフォルダーに振り分けられることがあります。ファイル分割されているクリップの振り分け先を変更する場合は、フォルダー分割後に手動でクリップを移動してください。

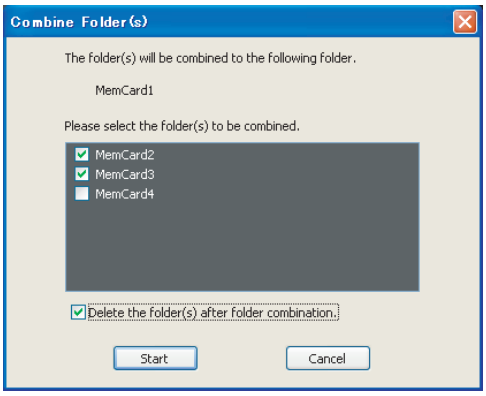
## フォルダーを結合する

指定したフォルダーに他のフォルダーを結合することができます。分割したフォルダーを元に戻すための機能です。

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ ) を参照して、結合したいフォルダーを選択する

**2** [ 編集 ] メニューで [ フォルダ結合 ] を選択する

- [ フォルダ結合 ] ダイアログが表示されます。




**3** 手順 *1* で指定したフォルダーに結合したいフォルダーのチェックボックスをオンにする
フォルダーの結合後、元のフォルダーを削除する場合は、[ 結合後、フォルダを削除する ] のチェックボックスをオンにする

ご注意:

- 次の場合、フォルダーは削除されません
  - 結合するフォルダー内に別のフォルダーがあるとき
  - フォルダーに削除や書き込みの権限がないとき
  - フォルダーが書き込み禁止になっているとき

**4** [ 開始 ] をクリックする

- 手順 *1* で指定したフォルダーに手順 *3* で指定したフォルダーが結合され、フォルダー内のクリップが結合先に集められます。
- ファイル分割されていたクリップは自動的に連結し、1つのクリップとして利用できます。

### ■ フォルダーが結合されないときは

以下に示す状況では、フォルダーは結合されず、メッセージが表示されます。

- 結合先フォルダーの容量が不足している。
- 結合元または結合先フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 結合元または結合先フォルダーが書き込み禁止になっている。
- 同じクリップが複数存在する。

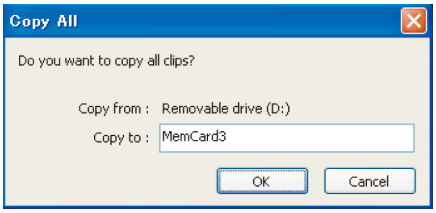
## メディアやフォルダー内のクリップをまとめてコピーする

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ ) を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウでコピー元のメディアまたはフォルダーを選択する

**2** もう一方の情報ウィンドウでコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する

**3** コピー元の情報ウィンドウをアクティブにして、[ 編集 ] メニューで [ 全コピー ] を選択するか、ツールバーで全コピーボタンをクリックする

- [Clip 全コピー ] ダイアログが表示されます。




**4** [ コピー元 : ] と [ コピー先 : ] の表示を確認して、コピーを実行する場合は [OK] をクリックする
コピーを中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする

### ■ コピー先を変更するには

[ コピー先 : ] ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

- コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

### ■ コピーを中断するには

ダイアログ上の [ キャンセル ] をクリックします。

### ■ コピーが実行できないときは

以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。

- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- コピーするクリップが保存されているメディア / フォルダーまたはコピー先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。

# クリップの操作

ご注意:
- 処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。
  - コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
  - 対象となるフォルダーをエクスプローラなどで削除しないでください。
  - 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

## クリップをコピーする

メディア内またはコンピューター上でクリップを複製したり、メディアとコンピューター間でクリップをコピーすることができます。

### *1* [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ) を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウにコピーするクリップを表示する

### *2* もう一方の情報ウィンドウでクリップのコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する

■ 新規のフォルダーにコピーしたいときは
コピー先となるメディアやフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

メモ:
- 操作については、[ フォルダーを作成する ] (☞11 ページ) をご覧ください。

### *3* コピー元の操作ウィンドウで、コピーしたいクリップをクリックして選択する

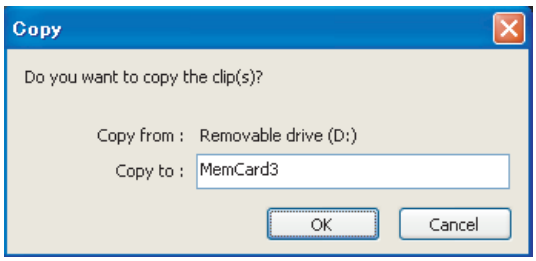
■ 複数のクリップを選択するには
Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

ご注意:
- 未登録のクリップや、異常クリップを選択してもコピーできません。

### *4* 次のいずれかの操作を行う

- コピーしたいクリップを、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上にドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- [ 編集 ] メニューで [ コピー] を選択し、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから [ 編集 ] メニューで [ 貼り付け ] を選択する。

コピーを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。




### *5* [ コピー元 : ] と [ コピー先 : ] の表示を確認して、コピーを実行する場合は [OK] をクリックする。コピーを中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする

コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

ご注意:
- いったんコピーが完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

■ コピー先を変更するには
[ コピー先 : ] ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

■ コピーを中断するには
ダイアログ上の [ キャンセル ] をクリックします。

■ コピーが実行できないときは
以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。

- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- コピー先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- コピー先のメディア/フォルダーが書き込み禁止になっている。

## クリップを移動する

メディア内またはコンピューター上でクリップを移動したり、メディアとコンピューター間でクリップを移動することができます。

**ご注意:**

- 本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも移動されます。(☞ 8 ページ )

### *1* [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ ) を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウに移動するクリップを表示する

### *2* もう一方の情報ウィンドウでクリップの移動先となるメディアまたはフォルダーを選択する

**■ 新規のフォルダーに移動したいときは**

移動先となるメディアや移動先のフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

**メモ:**

- 操作については、[ フォルダーを作成する ] (☞11 ページ ) をご覧ください。

### *3* 移動元の情報ウィンドウで、移動したいクリップをクリックして選択する

**■ 複数のクリップを選択するには**

Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

**ご注意:**

- 未登録のクリップや、異常クリップを選択しても移動できません。

### *4* 次のいずれかの操作を行う

- 移動したいクリップを、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上に、Ctrl キーを押したままドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- [ 編集 ] メニューで [ カット ] を選択し、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから [ 編集 ] メニューで [ 貼り付け ] を選択する。

移動を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

### *5* [ 移動元 : ] と [ 移動先 : ] の表示を確認して、移動を実行する場合は [OK] をクリックする。移動を中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする

移動を開始すると、移動の進捗状況を示すダイアログが表示されます。

**ご注意:**

- いったん移動が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。
- 移動中に本ソフトウェアを終了しないようにしてください。本ソフトウェアが終了すると、クリップと付加情報（メタデータ）との関連性が失われる可能性があります。また、分割クリップの連結情報が失われたり、異常クリップになる可能性があります。重要なクリップの場合は、コピーしてからコピー元を削除する方法で移動することをおすすめします。

**■ 移動先を変更するには**

[ 移動先 : ] ボックスをクリックして反転表示にし、移動先に指定したいフォルダー名を入力します。

**■ 移動を中断するには**

ダイアログ上の [ キャンセル ] をクリックします。

**■ 移動が実行できないときは**

以下に示す状況では、移動が実行されず、メッセージが表示されます。

- 移動先の容量が不足している。
- 移動先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- 移動するクリップが保存されているメディア/フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 移動するクリップが保存されているメディア/フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

# クリップの操作 ( つづき )

## クリップを削除する

ご注意:
- 本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも削除されます。(☞ 8 ページ )

***1*** **[作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ ) を参照し、削除するクリップを表示する**

***2*** **削除したいクリップをクリックして選択する**

■ 複数のクリップを選択するには
Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

***3*** **次のいずれかの操作を行う**

- Delete キーを押す。
- [ 編集 ] メニューで [ 削除 ] を選択する。

削除を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

***4*** **削除を実行する場合は [OK] をクリック、削除を中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする**

ご注意:
- いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

■ 削除が実行できないときは
以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。

- 削除するクリップが保存されているメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 削除するクリップが保存されているメディア/フォルダーが書き込み禁止になっている。

## 分割されたクリップを連結する

長時間にわたる撮影 / 記録のために複数のメディアに分割して記録されたクリップを、コピー、移動、またはフォルダー結合によって仮想的に連結することができます。連結したクリップは、1 つのクリップとして利用できます。

■ 分割されたクリップの連結手順例

***1*** **分割されたクリップが保存されたメディアをそれぞれ別名（Media1, Media2, Media3, など）のフォルダーにコピー、あるいは移動する**

- 各フォルダーは同じルートフォルダ上に作成してください。

***2*** **Media1のフォルダーにMedia2, Media3を[フォルダーを結合する ] (☞13 ページ ) の手順に従って結合する**

***3*** **分割されたクリップが Media1 フォルダー上に仮想的に連結され、一つのサムネイルとして表示される**

メモ:
それぞれの操作について詳しくは下記をご覧ください。
- [ クリップをコピーする ] (☞14 ページ )
- [ クリップを移動する ] (☞15 ページ )
- [ フォルダーを結合する ] (☞13 ページ )

ご注意:
- 時間軸上で連続していない分割クリップは連結されません。
- 未登録クリップや異常クリップは連結されません。
- 連結の関連付けはファイル名ではなくUMIDを参照して行われます。UMID が書き変えられているクリップは連結されません

## クリップをインポートする

本ソフトウェアでは、単独の MP4 ファイルは認識されません。このような未登録クリップをインポートして、本ソフトウェアで取り扱うことのできるクリップとして登録することができます。

### *1* [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ ) を参照して、インポート先のメディアまたはフォルダーを選択する

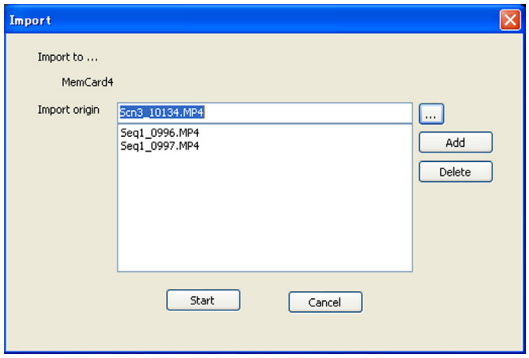
### *2* 次のいずれかの操作を行なってインポートする MP4 ファイルを選択する

**■ インポート先のリスト表示部にインポートするMP4ファイルが未登録クリップとして一覧表示されている場合**

- サムネイルなどの一覧表示から未登録クリップを選択し、[ ファイル ] メニューで [ インポート ] を選択します。
- 選択したクリップがインポートリストに追加された状態で、インポートダイアログが表示されます。
- 手順 ***6*** に進んでください。

**■ リスト表示部で未登録クリップを指定しない場合**

- [ ファイル ] メニューで [ インポート ] を選択します。
- インポートダイアログが表示されます。
- 手順 ***3*** に進んでください。




### *3* [...]をクリックしてフォルダーの参照ウィンドウをひらき、インポートする MP4 ファイルを指定する

- 指定したファイルが [ インポート元 ] エディットボックスに表示されます。

**ご注意:**

- 4GB 以上のファイルを選択すると、インポートできません。

### *4* [ 追加 ] をクリックして、ファイルをリストに追加する

### *5* 手順 *3*、*4* を繰り返し、インポートするファイルをすべてリストに表示する

**■ リストからファイルを削除するには**

削除したいファイルを選択して、[ 削除 ] をクリックします。

### *6* [ 開始 ] をクリックして、インポートを開始する

- インポートを開始する前にダイアログに表示されているインポート先のフォルダーが正しいか確認してください。
- インポートが完了すると、未登録クリップが通常のクリップに変換されます。
- インポートクリップには、← マークが表示されます。(☞ 8 ページ )

**■ インポートが実行できないときは**

以下に示す状況では、インポートが実行されず、メッセージが表示されます。

- インポート先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- インポート先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

**メモ:**

- 未登録クリップとは？

  本ソフトウェアで取り扱われるファイルフォーマットにはクリップ登録情報を管理しているファイルがあります。このファイルに登録されていない MP4 ファイルが未登録クリップです。クリップを登録するのは手動ではできませんので、必ず本ソフトウェアのインポート機能を使って登録してください。
- 未登録クリップとしてリスト表示部に表示させるためには？

  インポート先のメディアまたは、フォルダーに BPAV フォルダーがあり、MP4 ファイルが BPAV フォルダーの下の CLPR フォルダーの中にあると、クリップアイコンに “ ? ” マークがついて一覧表示されます。CLPR 以外の場所にある場合は、一覧表示を行なっても表示に出てきません。

**ご注意:**

- インポートされたクリップのプロパティは自動で設定されます。
- インポートされたクリップのタイムコードは 00:00:00:00 から開始されます。
- インポートされたクリップは、お使いの機器で再生できない場合があります。

# クリップの操作（つづき）

## クリップをエクスポートする

MP4 ファイルを MPEG-2 TS フォーマットに変換してエクスポートすることができます。

- MPEG-2 TS エクスポートは、以下のように SP モードで記録されたクリップにのみ対応しています。
  - SP 1440x1080　59.94 インターレース
  - SP 1440x1080　50 インターレース
  - SP 1280x720　60 プログレッシブ
  - SP 1280x720　50 プログレッシブ
  - SP 1280x720　30 プログレッシブ
  - SP 1280x720　25 プログレッシブ
  - SP 1280x720　24 プログレッシブ
- 変換されたクリップは、“m2t” という拡張子のファイルになります。
- Windows Vista では、システムドライブの直下（C:\ など）にクリップをエクスポートすることはできません。

### *1* [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ) を参照して、エクスポートするクリップを表示する

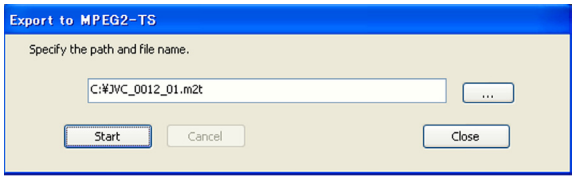
### *2* エクスポートしたいクリップをクリックして選択する

#### ■ 複数のクリップを選択するには

Ctrl キーを押したままクリップを順にクリックします。

### *3* ファイルメニューで [ エクスポート ]➡[MPEG-2 TS] を順に選択する

- [Expot to MPEG-2 TS] ダイアログが表示されます。現在選択しているドライブまたは開いているフォルダーの名前と作成されるクリップの名前がパスとして表示されます。（クリップの名前は自動設定されます。）




#### ■ エクスポート先のフォルダーやクリップの名前を変更するには

エディットボックスをクリックしてパス表示を反転表示にし、希望のフォルダー名とファイル名を入力します。

[...] をクリックしてフォルダの参照ウィンドウを開き、エクスポート先のフォルダーを選択することもできます。

手順 **2** で複数のクリップを選択したときは、フォルダー名を指定します。

### *4* [ 開始 ] をクリックして、エクスポートを開始する

#### エクスポートを中断するには

- [キャンセル]をクリックし、[閉じる]をクリックしてダイアログを閉じます。
- 複数のクリップを選択している場合、[ キャンセル ] をクリックするより前にエクスポートが完了したクリップは、エクスポート先のメディア / フォルダーから削除されません。

エクスポートが完了すると、ダイアログが閉じ、エクスポート先のメディア / フォルダーの内容が自動的に表示されます。

#### ■ エクスポートが実行できないときは

以下に示す状況では、エクスポートが実行されません。

- エクスポート先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- エクスポート先のメディア/フォルダーが書き込み禁止になっている。
- 選択されたクリップに HQ モードが含まれている。（ファイルメニューで [ エクスポート ] を選択しても [MPEG-2 TS] が選択できません）

**ご注意：**

- エクスポート先に FAT32 フォーマットのメディアが選択された場合、4GB 以上のクリップをエクスポートすると変換エラーが発生してエクスポートを停止する場合があります。大容量ファイルに対応したフォーマットのメディアをご使用ください。

## クリップの内容をプレビューする

Viewer ウィンドウのスクリーンでクリップの内容をプレビューすることができます。
コンピューターに全画面表示することもできます。

**メモ:**

- Viewer ウィンドウにはいくつかの制約事項があります。詳しくは、[Viewer（ビューアー）ウィンドウ ] (☞8 ページ ) をご覧ください。

### ■ Viewer ウィンドウにクリップを表示するには

いずれかの情報ウィンドウのリスト表示部にプレビューしたいクリップを表示し、ダブルクリックします。

- Viewer ウィンドウ上でクリップの再生が始まります。
- 再生を停止するには停止ボタンをクリックします。
- スクリーンの下に、クリップの現在位置のタイムコード（またはカウンター値）と、クリップのデュレーション（DUR）が表示されます。

### ■ プレビューの操作をするには

次のいずれかの方法により、Viewer ウィンドウ上に表示されたクリップに対して再生、サーチなどの操作を行うことができます。

- Viewer ウィンドウ上の [ プレビュー操作ボタン ] (☞8 ページ ) をクリックする。
- [ ビューアー] メニューで [ 再生制御 ] を選択し、実行したい操作項目を選択する。
- ポジションバーをドラッグする。

### ■ スクリーンを全画面表示にするには

- スクリーンにクリップを表示した状態で、スクリーン、または Viewer ウィンドウのタイトルバーをダブルクリックするか、[ ビューアー ] メニューの [ 表示 ]➡[ 全画面 ] を順に選択します。
- スクリーンを元のサイズに戻すには、スクリーン上をダブルクリックするか、Esc キーを押します。

## クリップの代表画を変更する

クリップのプレビュー中に、サムネイルで表示されるクリップの代表画を変更することができます。

**1 クリップを再生して、代表画に設定したいフレーム位置でとめる**

**2 Index Picture ボタンをクリックするか、[ ビューアー ] メニューで [ 編集 ]➡[ 代表画 ] を順に選択する**

- 現在表示しているフレームが、プレビューしているクリップの代表画になります。

**ご注意:**

- メディアに保存されたクリップをプレビューしている場合は、操作中にメディアを取り出さないでください。
- 操作中に電源が切れないよう注意してください。
- 代表画を変更したクリップをお使いの機器で使用しても指定した代表画にならない場合があります。

# クリップの操作（つづき）

## クリップを検索する

プレビューするクリップが見つからないときに、クリップのタイトルやコメント、クリップの撮影日時に基づいて、クリップを絞り込むことができます。

### 1 次のいずれかの操作を行う

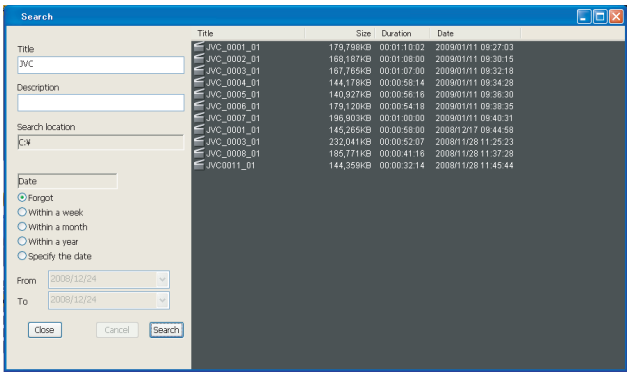
- 操作ウィンドウのツリー表示部で、検索したいクリップが存在しているドライブまたはフォルダーを選択する。
- [表示]メニューで[ルートフォルダー変更]を選択するか、ツールバーでルートフォルダー変更ボタンをクリックして [ ルートフォルダー変更 ] ウィンドウを開き、検索したいクリップが存在しているメディアまたはフォルダーを選択する。

メディアまたは選択したフォルダーに保存されているクリップやフォルダーが、リスト表示部に一覧表示されます。

### 2 次のいずれかの操作を行う

- [ 表示 ] メニューで [ 検索 ] を選択する。
- ツールバーで検索ボタンをクリックする。

検索ダイアログが表示されます。[ 探す場所 ] のボックスには、現在選択しているフォルダーのパスが表示されます。




### 3 クリップの検索条件を、次の中から最低 1 つ指定する

- [Title]（タイトル）のボックスに、タイトルの一部または全体を入力する。
- [Description]（コメント）のボックスに、コメント一部または全体を入力する。
- [ 撮影日 ] のボタンとリストボックスを使って、クリップが撮影された日時を指定する。

### 4 [ 検索 ] をクリックする

- 手順 **3** で指定した条件に該当するクリップが、検索ダイアログ内に一覧表示されます。
- プレビューしたいクリップをダブルクリックすると、クリップが Viewer ウィンドウに表示され、再生が始まります。
- また、操作ウィンドウのツリー表示部では、プレビューしているクリップが保存されているフォルダーがリスト表示部に表示されます。

**ご注意：**

- 検索実行中は、必ず次の事項をお守りください。
  - 対象となるフォルダーを削除しないでください。
  - 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

## クリップの情報を参照する

クリップのプロパティウィンドウを表示して、クリップの情報を参照することができます。

**ご注意：**

- ソフトウェアの動作環境に応じて文字コードに対応するフォントを選択していないと、文字化けが生じます。あらかじめオプションダイアログで適切なフォントおよび文字コードを選択してください。
- フォントによっては、改行文字が表示されます。
  詳しくは、[ 環境設定 ] (☞23 ページ ) をご覧ください。

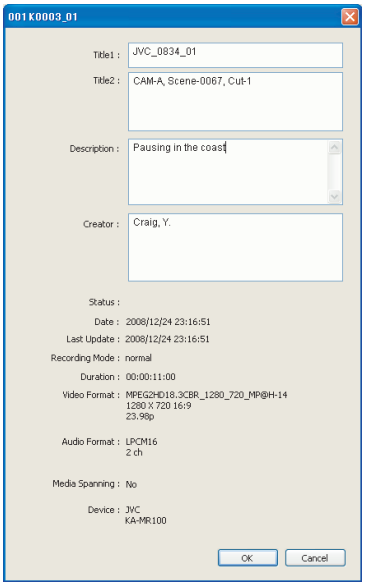
### ■ プロパティウィンドウを表示するには

### 1 [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞10ページ ) を参照して、情報を参照するクリップを表示する

### 2 情報を参照したいクリップをクリックして選択する

### 3 [ 編集 ] メニューで [ プロパティ ] を選択する

- [ プロパティ ] ウィンドウが表示されます。



■ [ プロパティ ] ウィンドウに表示される情報

次表に示す情報が表示されます。[Title1]、[Title2]、[Description] の内容を変更することができます。

| 子目 | 内容 |
|---|---|
| Title1（タイトル） | リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。([Title2] が設定されているときは [Title2] が表示される。)<br>英数字および記号を 63 文字まで入力可能（改行不可）。<br>使用可能な記号：スペース、−、+、# |
| Title2（サブタイトル） | リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。<br>127 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。<br>英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。 |
| Description（コメント） | 任意のコメントを 2047 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。<br>英数字で 2047 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用）。 |
| Creator（作成者） | クリップの作成者の情報<br>127 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。<br>英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する。<br>（通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用） |
| Status（ステータス） | クリップに OK マークが付いている場合は、[OK] が表示される。OK マークが付いていない場合は何も表示されない。(☞ 8 ページ ) |
| Date（作成日時） | クリップの作成日時 |
| Last Update（最終更新日） | クリップの最終更新日<br>クリップのコピーや移動、連結を行なったり、タイトルやコメント、代表画を変更した場合も更新される。 |
| Recording Mode（記録モード） | クリップを作成したときの機器の動作モード<br>Normal　：通常記録<br>Slow&QuickMotion　：スローアンドクイックモーション<br>**メモ:**<br>● 各モードの詳細は、お使いの機器の [ 取扱説明書 ] をご覧ください。 |
| Duration（デュレーション） | クリップ長を時：分：秒：フレームで表示 |
| Video Format（ビデオフォーマット） | ビデオの記録フォーマットの詳細情報 |
| Audio Format（オーディオフォーマット） | オーディオの記録フォーマットの詳細情報 |
| Media Spanning（メディアの分割） | 分割されたクリップの場合は [Yes]、分割されていない場合は [No] を表示 |
| Device（デバイス） | 記録機の情報 |

■ 表示内容を変更したときは

- [OK] をクリックして変更内容を保存します。
- 変更内容を破棄するときは、[ キャンセル ] をクリックします。

# 付録

## 記録フォーマットと記録フォルダーについて

### ■ 記録フォーマット

本ソフトウェアは、MP 4ファイルフォーマットに対応しています。このフォーマットの仕様は次のとおりです。

- フォルダーの名前と構成は、次項の図のように決められている。
- ファイルには各ファイルやフォルダー間のリンクに関する情報が記録されている。

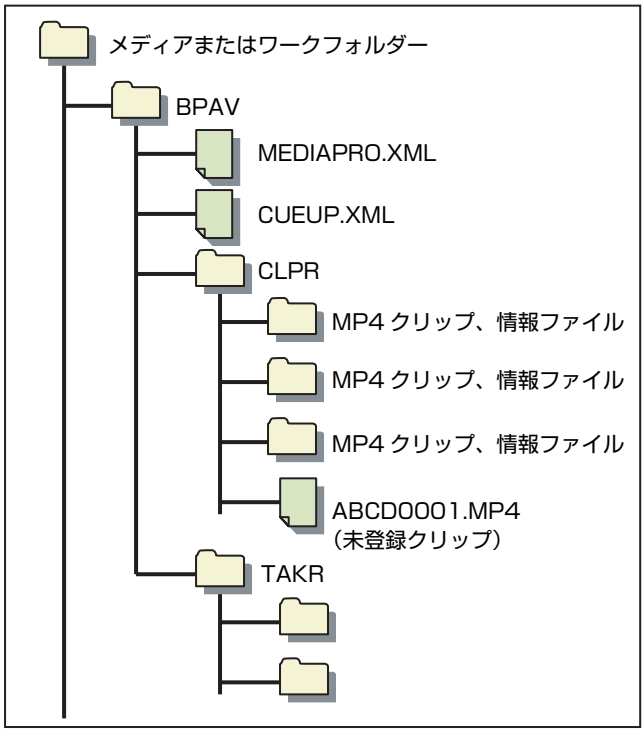
ご注意:

- JVC ProHD Clip Manager 以外のアプリケーションを使用して、ファイルを編集したり、ファイルやフォルダーに対して削除、移動、名前の変更などの操作をしたりしないでください。このフォーマットの仕様に従わないファイルは、ProHD シリーズの機器や本ソフトウェアで認識できなくなります。

### ■ 記録フォルダー

映像や付加情報を記録するフォルダーは、次図のような階層構造になっています。

BPAV フォルダー以下を１つのまとまりとして扱います。




メモ:

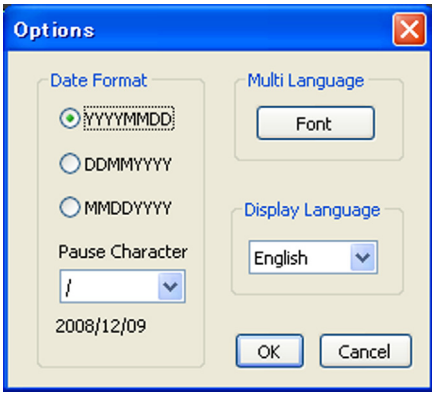
- ワークフォルダーをエクスプローラで開くと、BPAV フォルダーが１つだけ存在します。
- コピーやバックアップを行うときは、BPAV フォルダー以下を選択してください。
- 本ソフトウェアのツリー表示部でワークフォルダーを選択すると、BPAV フォルダーに登録されたクリップの一覧がリスト表示部に表示されます。AV データは CLPR フォルダーの下のフォルダー内に存在します。
- SxS メモリーカードを使用するレコーダー機器 (KA-MR100G) の場合は、メディアのルートフォルダーの下に BPAV フォルダーを作成します。
- SDHC メモリーカードを使用するレコーダー機器の場合は、メディアのルートフォルダーの下に PRIVATE/JVC/ フォルダーがあり、その下に BPAV フォルダーを作成します。
- MP4ファイルをCLPRフォルダーの下にコピーしておくと、CLPR フォルダーの属する BPAV フォルダーをサムネイルまたは一覧表示したとき、リスト表示部に未登録の MP4 クリップ表示が現れます。
- CLPR フォルダーの下にある MP4 ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そのフォルダー内に MP4 ファイルが移動します。
- 他のフォルダーからMP4ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そこにインポートされたクリップがコピーされます。フォルダー名は自動的に付けられます。
- １つの記録フォルダー内には最大で 600 個のクリップが登録できます。

ご注意:

- フォルダー名やファイル名はメタデータファイルと連携しているため、変更しないでください。

## 環境設定

オプションダイアログで、本ソフトウェアに関する環境設定を行います。
オプションダイアログを開くには、ツールメニューで [ オプション ]➡[ 管理 ] を順に選択します。



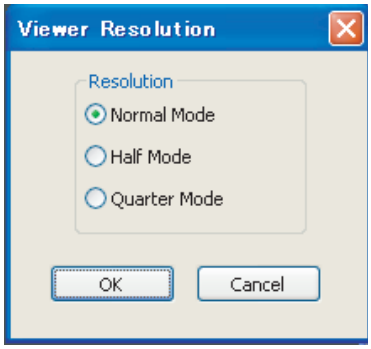

| | |
|---|---|
| Date Format | 日付の表示形式を選択します。YYYY は西暦、MM は月、DD は日を表しています。<br>さらに [Pause Character] リストボックスで年月日の区切り記号を指定することができます。リストボックスの下には、選択されている形式が現在の日付で表示されます。 |
| Multi Language | [Font] ボタンをクリックしてフォント設定ダイアログを開き、タイトルやコメントの表示フォントおよび文字コードを設定します。 |
| Display Language | 本ソフトウェアの表示言語 (“English” または “Japanese”) を選択します。 |

**ご注意:**

- Windows の日本語版では、OS のバージョンによって、使用している文字セットが異なります（Vista は JIS2004、XP は JIS90)。したがって、Windows Vista で入力した文字を Windows XP で参照したとき、文字の形状が異なったり、表示できないことがあります。詳しくは、マイクロソフト社のウェブサイトで「JIS X 0213:2004 対応と新日本語フォント「メイリオ」について」に関する情報をご覧ください。

## 解像度設定

ツールメニューで [ オプション ]➡[ 解像度 ] を順に選択し、表示される [ 解像度設定 ] ダイアログで設定します。




### ■ 再生の解像度を変更するには

[ 通常 ]、[ 1/2 解像度 ]、[ 1/4 解像度 ] の中から選択します。
[ 1/2 解像度 ] または [ 1/4 解像度 ] に設定するとプレビュー画質は低下しますが、再生時のデコーダーの負荷が低減するため、再生レスポンスは向上します。
CPU の性能が充分ではないコンピューターで再生するときは、これらの解像度に変更することをおすすめします。

# 付録（つづき）

## ショートカットキー一覧

本ソフトウェアでは、キーボードで操作できる機能があります。以下にショートカットキーの一覧をメニューの機能ごとに示します。表の「操作」欄で、キーボードのあるキーを押したまま別のキーを押すときは、「Ctrl + R」のようにキーの名前を「+」記号でつないで示します。

### ■ ファイルメニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| フォルダー名変更 | Ctrl + R | 選択したフォルダーの名前を変更する。 | ☞ 12 ページ |
| フォルダー作成 | Ctrl + N | メディアまたはフォルダー内にフォルダーを作成する。 | ☞ 11 ページ |
| 保存フォルダーを開く | Ctrl + E | エクスプローラを起動し、現在選択しているフォルダーを開く。 | ☞ 12 ページ |
| インポート | Ctrl + M | MP4 ファイル（未登録クリップ）をインポートする。 | ☞ 17 ページ |

### ■ 編集メニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 全コピー | Ctrl + Shift + C | メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーする。 | ☞ 13 ページ |
| カット | Ctrl + X | 選択したクリップをカットする（切り取る）。 | ☞ 15 ページ |
| コピー | Ctrl + C | 選択したクリップをコピーする。 | ☞ 14 ページ |
| 貼り付け | Ctrl + V | カットまたはコピーしたクリップを貼り付ける。 | ☞ 14 ページ<br>☞ 15 ページ |
| 削除 | Delete | 選択したクリップを削除する。 | ☞ 16 ページ |
| プロパティ | Ctrl + I | 選択したクリップのプロパティウィンドウを表示する。 | ☞ 20 ページ |
| フォルダー分割 | Ctrl + W | 選択したフォルダーを、指定したサイズで分割する。 | ☞ 12 ページ |
| フォルダー結合 | Ctrl + J | 選択したフォルダーに、指定した別のフォルダーを結合する。 | ☞ 13 ページ |

■ 表示メニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| フォルダー | Shift ＋ T | ツリー表示部を隠す / 表示する。 | ー |
| ルートフォルダー変更 | Shift ＋ O | ツリー表示部のルートフォルダーを変更する。 | ☞ 10 ページ |
| 上へ | Shift ＋ U | 1 つ上のフォルダーへ移動する。 | ☞ 10 ページ |
| 縮小版 | Shift ＋ H | リスト表示部をサムネイル表示にする。 | ☞ 7 ページ |
| 一覧 | Shift ＋ L | リスト表示部を一覧表示にする。 | |
| 詳細 | Shift ＋ D | リスト表示部を詳細表示にする。 | |
| アイコンの整列 >Title | Ctrl ＋ Shift ＋ N | リスト表示部のクリップを、タイトルをキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | |
| アイコンの整列 >Size | Ctrl ＋ Shift ＋ S | リスト表示部のクリップを、サイズをキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | |
| アイコンの整列 >Duration | Ctrl ＋ Shift ＋ D | リスト表示部のクリップを、デュレーションをキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | |
| アイコンの整列 >Date | Ctrl ＋ Shift ＋ P | リスト表示部のクリップを、撮影日時をキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | |
| 検索 | F3 | クリップを検索する。 | ☞ 20 ページ |
| 最新の情報に更新 | F5 | ツリー表示部およびリスト表示部のデータを最新情報に更新する。 | ー |

■ ビューアーメニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 再生制御 > 再生 | スペース | 再生を開始する。 | ☞ 8 ページ |
| 再生制御 > 停止 | スペース | 現在位置で動作を停止する。 | |
| 再生制御 > 早送り | F | 現在位置より後ろをサーチする（早送り）。 | |
| 再生制御 > 巻き戻し | R | 現在位置より前をサーチする（巻き戻し）。 | |
| 再生制御 > 先頭へ | ↑ | クリップの先頭フレームへ移動する。 | |
| 再生制御 > 終端へ | ↓ | クリップの最終フレームへ移動する。 | |
| 再生制御 >+1 Frame | → | 1 フレーム進む。 | |
| 再生制御 > − 1 Frame | ← | 1 フレーム戻る。 | |
| 表示 > 全画面 | F11 | スクリーンを全画面表示にする。 | ☞ 19 ページ |

■ ツールメニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| オプション > 管理 | Ctrl ＋ O | 本ソフトウェアに関する環境設定を行う | ☞ 23 ページ |
| オプション > 解像度 | Ctrl ＋ P | 再生の解像度を設定する。 | ☞ 23 ページ |

# 付録（つづき）

本ソフトウェアでは、GNU Lesser General Public License（LGPL）を使用しています。
ライブラリー名：FFMPEG

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品は以下の LGPL 適用ソフトウェアを使用しており、お客様にはこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

FFMPEG
- avcodec-51.dll
- avformat-51.dll
- avutil-49.dll

これらのソースコードは、付属の CD-ROM の / Software/ClipManager/SRC フォルダー内に収録されています。
また、以下のホームページからダウンロードすることもできます。
http://www.jvc-victor.co.jp/download/lnx/06jvc_pro/jvc_pro_linux_download_page.html

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

FFmpeg は FFmpeg プロジェクトの創始者である Fabrice Bellard の商標です。

# 動作環境

本ソフトウェアを使用するためには、以下に示すコンピューター環境が必要です。

| 項目 | 条件 |
|---|---|
| プロセッサー | Intel Core 2 Duo 2GHz 以上推奨 |
| メモリー | 2GB 以上を推奨 |
| OS | Mac OS X 10.5.5 以上 |

# ソフトウェアのインストール

## CD-ROM からインストールする場合

***1*** 付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れる

***2*** ディスクアイコンをダブルクリックする

- Finder が起動し、CD-ROM の内容が表示されます。

***3*** [Software]➡[ClipManager]➡[MAC OS X] フォルダーにある、[JVC ProHD Clip Manager.dmg] をダブルクリックする

- インストール画面が表示されます。それ以降は画面に従ってインストールを実行してください。
- はじめに本ソフトウェアの使用許諾契約画面が表示されますので、[ 同意する ] を選択してインストールを進めてください。

## ソフトウェアのアンインストール

インストール先のフォルダー（デフォルト：/ アプリケーション /JVC ProHD Clip Manager）をゴミ箱に移動します。

# 起動と終了

## ソフトウェアを起動する

Finder で [Applications] フォルダー内の [JVC ProHD Clip Manager] フォルダーをひらき、[JVC ProHD Clip Manager] をダブルクリックします。

ソフトウェアが起動すると操作ウィンドウ (☞ 28 ページ) が表示されます。

## ソフトウェアを終了する

次のいずれかを実行します。

- JVC ProHD Clip Manager メニューで [JVC ProHD Clip Manager を終了 ] を選択する。
- 操作ウィンドウの左上にある [ × ]（閉じる）ボタンをクリックする。

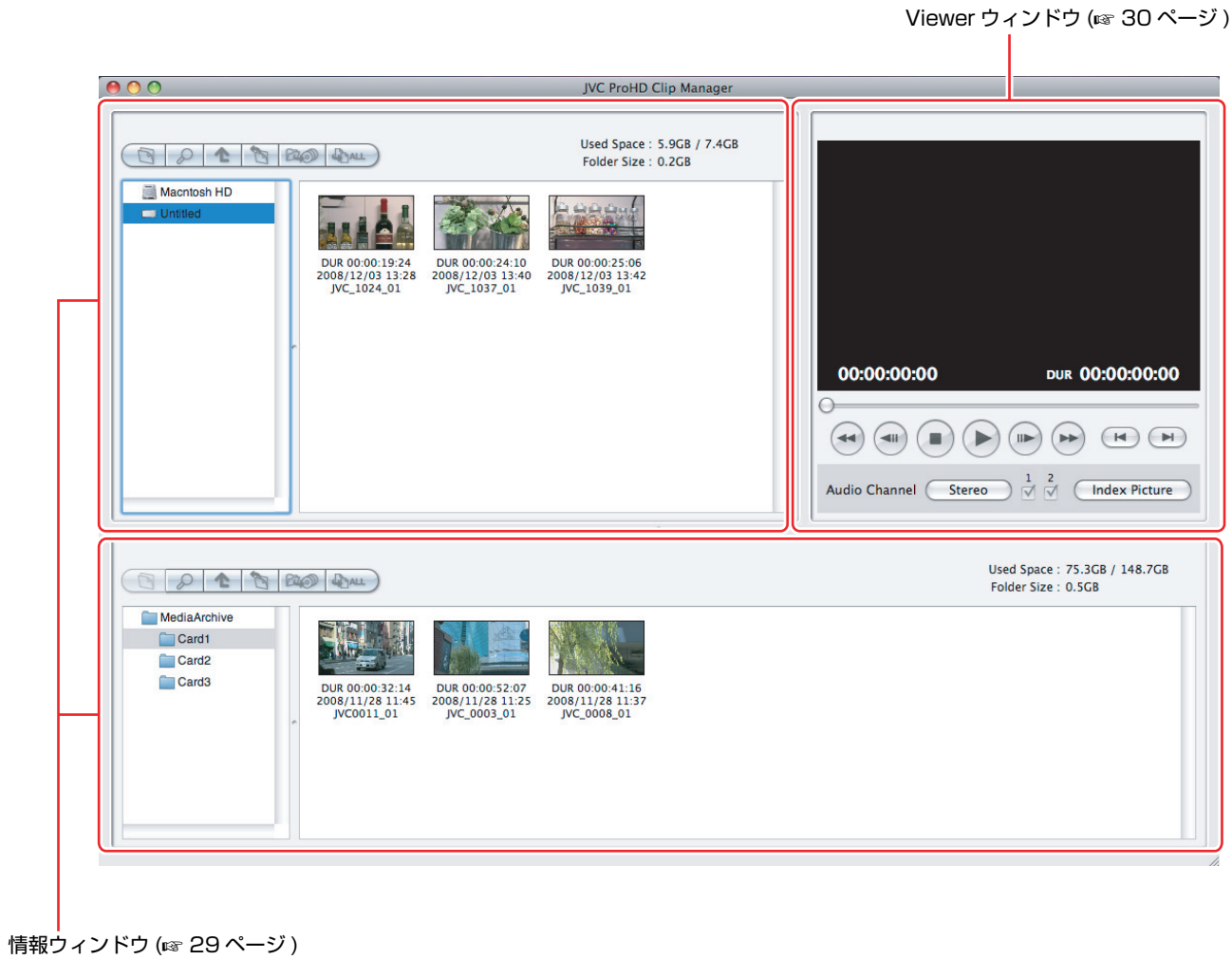
ご注意：

- ファイル操作が行われているときに、コンピューターの電源を切らないでください。ファイルが壊れる可能性があります。操作の終了を待つか、操作をキャンセルしてから電源を切ってください。

# 各部の名前とはたらき

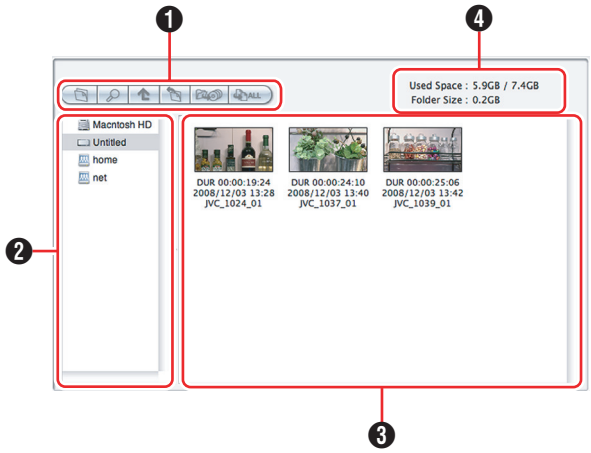
## 操作ウィンドウの構成

ソフトウェアを立ち上げると下記のような画面が表示されます。
本書では、英語表示設定の画面で説明しますが、ソフトウェアは言語の設定を日本語にすることもできます。
(☞45 ページ [ 環境設定 ])



## 情報ウィンドウ

メディアやフォルダー内のクリップの一覧が表示されます。クリップの内容を確認したり、コピー、削除などの操作を行います。情報ウィンドウは以下のような構成になっています。




### ❶ ツールボタン

クリップやフォルダーの操作を行います。

| ツールボタン | | 機能 | 参照ページ |
|---|---|---|---|
| アイコン | 名称 | | |
| | フォルダー作成 | 現在選択されている場所に、フォルダーを新規作成します。 | ☞ P 32 |
| | 検索 | クリップ検索画面がひらき、タイトルや日付などで希望のクリップを検索できます。 | ☞ P 42 |
| | 上へ | 1つ上のフォルダーへ移動します。 | — |
| | ルートフォルダー変更 | ツリー表示部のルートフォルダーを変更します。 | — |
| | フォルダー分割 | フォルダーを選択された容量に分割します。 | ☞ P 34 |
| | 全コピー | メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーします。 | ☞ P 35 |

### ❷ ツリー表示部

リムーバブルメディアやハードディスクドライブなどのフォルダー構成を 2 階層分表示します。下の階層のフォルダーをダブルクリックすると、そのフォルダーがルートフォルダーとなり、その下の階層が表示されます。クリップが保存されているメディアやフォルダーが選択されると、リスト表示部にサムネイルなどのアイコンが一覧表示されます。

### ❸ リスト表示部

ツリー表示部で選択されているメディアやフォルダーに保存されているクリップが一覧表示されます。

クリップのステータスを示すマークが、以下の図のようにサムネイル上に表示されます。

| 表示形式 | アイコン | 説明 |
|---|---|---|
| サムネイル表示 | | 通常のクリップ |
| | | OK マーク付きクリップ（レコーダー機器で OK マークを設定した）※1 |
| | | 分割されたクリップの一部（周囲に枠が表示される）※2 |
| | | MP4 ファイルのインポートクリップ |
| | | MP4 ファイルの未登録クリップ（まだインポートされていないクリップ） |
| | | 異常クリップ ※3※4 |

※1　：本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも移動または削除されます。

※2　：4GB を超える映像ファイルは自動的に複数のクリップとして保存されます。それぞれのクリップは複数のメディアに分割して記録された一部分となり、不足している画像部分は再生されません。

※3　：ファイルが壊れている、ファイルの関連付けが切れている（変更されている）、必要なファイルが不足している、サムネイルが作成できないなどの原因により、本ソフトウェアで再生 / 表示できないクリップ

※4　：他のアプリケーションがクリップのファイルを使用しているとき

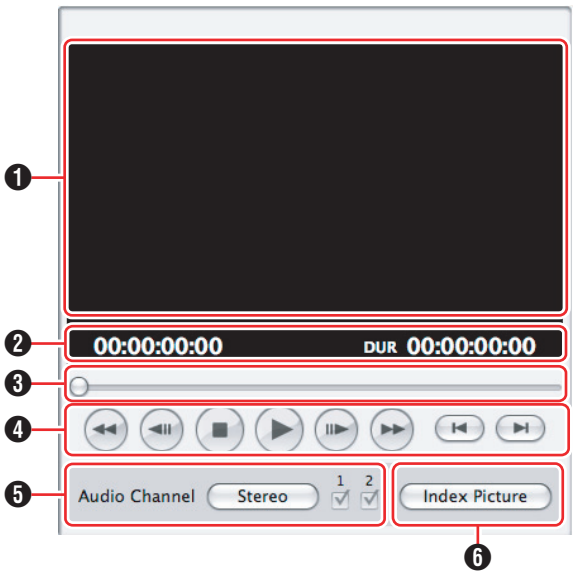
### ❹ 使用容量表示

情報ウィンドウに表示されているクリップの使用容量とメディアの容量、およびフォルダーの容量が表示されます。

# 各部の名前とはたらき（つづき）

## Viewer（ビューアー）ウィンドウ

このウィンドウ上で、選択したクリップのプレビューなどの操作を行います。操作ボタンを使い、通常再生、早送り巻き戻しなどサーチの確認ができます。




### ❶ スクリーン

再生画を表示します。

### ❷ タイムコード表示

ポジションバーの位置のタイムコードとクリップのデュレーション（DUR）の値を表示します。

**ご注意：**

- 未登録クリップでは、25fps でカウンターが動作します。
- インポートクリップでは、00:00:00:00 からカウントを開始します。

### ❸ ポジションバー

クリップ上の現在位置を示します。つまみを任意の位置にドラッグするか、またはポジションバー上の任意の場所をクリックして、その位置に移動することができます。

### ❹ プレビュー操作ボタン

クリップのプレビュー操作を行うボタンです。図の左から、以下のようなボタンと機能になります。

巻き戻しボタン　：現在位置より前の映像をサーチします。
１コマ戻しボタン：現在位置から 1 フレーム戻ります。
停止ボタン　　：現在位置で再生を停止します。
再生ボタン　　：現在位置から通常再生します。
１コマ送りボタン：現在位置から 1 フレーム送ります。
早送りボタン　：現在位置より後の映像をサーチします。
先頭フレーム移動ボタン
　　：クリップの先頭位置に移動します。
最終フレーム移動ボタン
　　：クリップの最終位置に移動します。

### ❺ [Audio Channel]（オーディオチャンネル）選択部

[Stereo]（ステレオ）/[Monaural]（モノラル）ボタンをクリックして、[Stereo]（ステレオ）表示の場合は両チャンネルの音声が出力されます。[Monaural]( モノラル ) 表示の場合は CH1 あるいは CH2 のみを選択して音声出力することができます。

### ❻ [Index Picture]（代表画）ボタン

プレビューしているクリップのサムネイル画を、スクリーンに表示している静止画に変更できます。ただし、ここでの設定は機器で表示されるサムネイル表示には正しく反映されません。

**ご注意：**

- このウィンドウで行う再生はプレビュー再生です。以下の点にご注意ください。
  - コンピューターの性能や使用状況によっては、コマ落ちしたり、タイムコードが実際の値とずれることがあります。
  - クリップが不完全な状態の場合、再生時に画像が乱れたり、フリーズすることがあります。
  - 分割されたクリップの場合は、不足している画像部分は再生されません。
  - お使いの機器以外で作成したクリップについては、再生できない場合があります。
  - 再生画像の色が異常なときは、ソフトウェアを終了してから、コンピューターの画面の設定（プロパティ）で画面の色のパラメーターを変更してみてください。正常な色になる場合があります。
  - 再生中にコンピューターの画面の設定（プロパティ）を変更すると、画像が正しく再生できなくなることがあります。その場合は、ソフトウェアを再起動してください。
  - ノートタイプコンピューターなどで、コンピューター自身のモニターと外部モニターに同時に画像を表示しようとしても表示されないことがあります。

# Clip Manager を使ったクリップの操作手順の流れ

ここでは、本ソフトウェアの対象となる、MP4 ファイルフォーマットで収録されたクリップの操作手順について説明します。

**ご注意:**

- クリップのコピーや削除などの操作は、必ず本ソフトウェアを使って行なってください。収録されたファイルには映像／音声が記録されたクリップ（MP4 ファイル）以外にも幾つかの情報ファイルがあるため、別の方法で操作すると正常な画ファイル管理ができなくなる場合があります。

クリップを操作する基本的な手順は、以下のような流れとなります。

| | |
|---|---|
| Step 1 | **作業対象メディア／フォルダーの選択** (☞ 31 ページ)<br>操作するクリップが保存されているメディア、またはフォルダーを選択し、情報ウィンドウに一覧表示させます。 |

▼

| | |
|---|---|
| Step 2 | **メディア / フォルダーの操作** (☞ 32 ページ)<br>作業対象となるフォルダー、例えばコピー先フォルダーを選択、または新規作成します。<br>メディア / フォルダーの全クリップをコピーしたり、バックアップをとります。 |

▼

| | |
|---|---|
| Step 3 | **クリップの操作** (☞ 36 ページ)<br>必要に応じて、メディア / フォルダーに保存されているクリップごとにツールバーのボタンなどを使いコピー、移動、削除などの操作を行います。 |

# 作業対象メディア / フォルダーの選択

クリップが保存されているメディア、またはメディア内のフォルダーの選択のしかたについて説明します。

選択操作には、情報ウィンドウのツリー表示部で指定する方法とルートフォルダー変更ダイアログで指定する方法があります。

**メモ:**

- 本書では、次の記録媒体をメディアと呼びます。
  - SxS メモリーカード
  - USB メモリー
  - SDHC メモリーカード
  - コンピューターに内蔵されているハードディスク
  - 外付けハードディスク
  - CD-R
  - DVD-R
  - Blu-ray Disc

## ツリー表示部で選択する

### *1* 情報ウィンドウのツリー表示部で、メディアまたはフォルダーをダブルクリックする

- ダブルクリックしたメディアまたはフォルダーの下の階層が表示されます。ツリー表示部では、メディアおよびフォルダーの構成が 2 階層ずつ表示されます。
- メディア内に直接クリップが保存されている場合は、内容がリスト表示部に表示されます。

### *2* 下の階層のフォルダーをダブルクリックする

- ダブルクリックしたフォルダーがルートフォルダーとなり、1 つ下の階層が表示されます。

**■ 1 つ上の階層に戻るには**

[ 表示 ] メニューで [ 上へ ] を選択するか、ツールバーで上へボタンをクリックします。

### *3* 必要に応じて手順 *2* を繰り返す

- 選択したフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

# 作業対象メディア / フォルダーの選択 ( つづき )

## ルートフォルダー変更ダイアログで選択する

**1** [表示] メニューで [ルートフォルダー変更] を選択するか、ツールボタンのルートフォルダー変更をクリックする

**2** ダイアログ内のツリー表示で、メディアまたはフォルダーを選択する

**3** [ 開く ] をクリックする

- ルートフォルダー変更ダイアログが閉じ、選択したメディアまたはフォルダーの内容がリスト表示部に表示されます。

ご注意:

- メディアを選択したときに、" 修復が必要なワークフォルダまたはメディアです " や " 記録を行った装置で修復を実行してください " のメッセージが表示されることがあります。この場合、記録中にレコーダー機器の電源を切ったり、記録メディアを抜いたことにより、メディアのデータが不完全な状態になっています。メディアをレコーダー機器に戻してすぐにデータを復旧させてください。データを復旧させないまま操作を続けると、データが復旧できなくなります。

# フォルダー / メディアの操作

ご注意:

- 処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。
  - コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
  - 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

## MP4 ファイルフォーマットのクリップのフォルダーについて

クリップが収録されているフォルダーには、BPAV フォルダー (☞ 44 ページ ) が存在します。(情報ウィンドウには表示されませんが、Finder で見ることができます。)
本ソフトウェアでは、クリップをコピーしたり、移動するときは、BPAV フォルダーも一緒にコピーまたは移動します。BPAV フォルダーと切り離してクリップだけを操作することはできません。

ご注意:

- ネットワーク機能を使用して、複数のコンピューターから同時に同じフォルダーを操作すると、ファイルがアクセス不能になることがあります。

## フォルダーを作成する

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ ) を参照して、フォルダーを作成したいメディアまたはフォルダーを選択する (ツリー表示部でルートフォルダーにする)

**2** ルートフォルダーにフォーカスがある状態で、[ ファイル ] メニューから [ フォルダ作成 ] を選択するか、ツールボタンフォルダー作成をクリックする

- 手順 *1* で選択したメディアまたはフォルダー内に、新規フォルダーが作成されます。

■ フォルダーが作成できないときは
以下に示す状況では、フォルダーは作成されず、メッセージが表示されます。

- 手順*1*で選択したメディア/フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 手順*1*で選択したメディア/ フォルダーが書き込み禁止になっている。

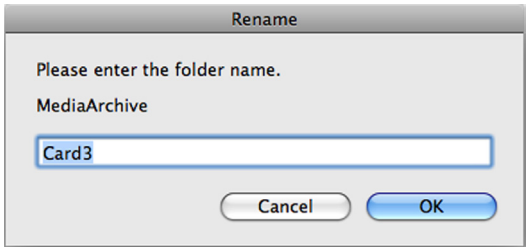
ご注意:

- クリップが保存されているフォルダー上に、別の保存用フォルダーを作成することはできません。必ずその 1 つ以上上のフォルダーに作成してください。
  例）Archive フォルダーを作業フォルダーのルートとして、その上にメディアごと、あるいは管理ごとのフォルダーを作成する（Media1, Media2, など）
- コンピューターのファイルシステム上、書き込みができないファイルシステムでは、フォルダーを作成することはできません。
- フォルダーの作成直後は通常のフォルダーと同じですが、クリップのコピーや移動などを 1 度でも行うと、自動的に機器と同じ形式のワークフォルダーにフォーマットされます。（必要なフォルダーやメタデータファイルが自動的に作成されます。）
- “BPAV” という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字は使用できません。

### ■ フォルダー名を変更する

**1** 作成したフォルダーを選択し、[ ファイル ] メニューで [ フォルダ名変更 ] を選択する

- [ フォルダ名変更 ] ダイアログが表示されます。




**2** エディットボックスに希望のフォルダー名を入力する（英数字と記号で 80 文字まで入力可能）

ご注意:

- “BPAV” という名前を指定することはできません。
- OS で使用が禁止されている文字は使用できません。

**3** [OK] をクリックする

### ■ フォルダーのバックアップを作成する

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ ) を参照して、バックアップを作成したいフォルダーを選択する

**2** [ ファイル ] メニューで [ 保存フォルダを開く ] を選択する

- Finder が表示されます。

**3** Finder でバックアップ作成の操作を行う

**フォルダーの容量が大きいため、1 つのメディア / フォルダーに保存できないときは**

フォルダーを分割することにより、複数のディスクに分けてバックアップを作成することができます。分割されたフォルダーは再結合して元に戻すことができます。

メモ:

- 詳しくは、[ フォルダーを分割する ] (☞34 ページ ) および [ フォルダーを結合する ] (☞35 ページ ) をご覧ください。

# フォルダー / メディアの操作（つづき）

## フォルダーを削除する

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択]（☞31ページ）を参照して、削除したいフォルダーを選択する

**2** コマンドキーを押したまま delete キーを押すか、[ 編集 ] メニューで [ 削除 ] を選択する

■ フォルダーを削除できないときは
以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。

- 選択したフォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 選択したフォルダーが書き込み禁止になっている。
- 選択したフォルダーの直下に、クリップや他のフォルダーが存在する。※1

**ご注意：**
- フォルダーを削除すると、フォルダー内の全データが削除されますので注意してください。
- いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

※1　：選択したフォルダーが削除できない例
- ●対象のフォルダーに関連付けられていないファイルなどがあるとき
- ●対象のフォルダーに他のワークフォルダーがあるとき

これらの場合は、関連付けられていないファイルや他のワークフォルダーを削除する必要があります。

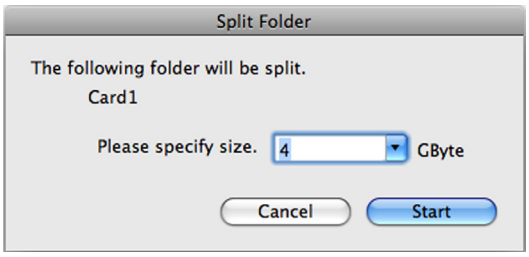
## フォルダーを分割する

フォルダーを分割してクリップを分散させて保存することにより、各フォルダーの記録容量を小さくすることができます。フォルダー内の全データを、フォルダーよりも小さい容量のメディアにバックアップする場合に使用します。たとえば、8GB のフォルダーを 4GB の DVD-R メディアにバックアップする場合、4GB のフォルダー 2 つに分割します。フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択]（☞31ページ）を参照して、分割したいフォルダーを選択する

**2** [編集] メニューで [フォルダー分割] を選択するか、ツールボタンのフォルダー分割作成をクリックする

- [ フォルダー分割 ] ダイアログが表示されます。




**ご注意：**
- フォルダーを分割しても個々のファイルは分割されません。分割後のフォルダーが指定した容量になるように、クリップが振り分けられます。したがって、フォルダー内にある一番大きなファイルサイズ以下のフォルダーサイズを指定することはできません。
- 4GB 未満のサイズも指定できません。

**3** 分割後のフォルダーの容量を、ドロップダウンリストで指定する

**4** [ 開始 ] をクリックする

- 4GB から 60GB まで、4GB 単位で選択できます。
- 指定したフォルダーの容量に応じて、分割数が最小となるようにフォルダーが分割され、クリップが各フォルダーに振り分けられます。分割の結果生成されたフォルダーには、元のフォルダー名に通し番号が付加された名前が自動的に設定されます。

**ご注意：**
- いったん分割を開始したら中断（キャンセル）することはできません。
- ファイル分割されているクリップは、それぞれ別のフォルダーに振り分けられることがあります。ファイル分割されているクリップの振り分け先を変更する場合は、フォルダー分割後に手動でクリップを移動してください。

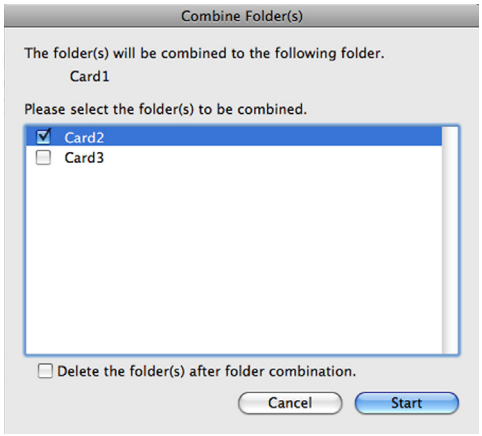
## フォルダーを結合する

指定したフォルダーに他のフォルダーを結合することができます。分割したフォルダーを元に戻すための機能です。

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ ) を参照して、結合したいフォルダーを選択する

**2** [ 編集 ] メニューで [ フォルダ結合 ] を選択する

● [ フォルダ結合 ] ダイアログが表示されます。




**3** 手順 *1* で指定したフォルダーに結合したいフォルダーのチェックボックスをオンにする
フォルダーの結合後、元のフォルダーを削除する場合は [ 結合後、フォルダを削除する ] のチェックボックスをオンにする

**ご注意:**

- 次の場合、フォルダーは削除されません
  - 結合するフォルダー内に別のフォルダーがあるとき
  - フォルダーに削除や書き込みの権限がないとき
  - フォルダーが書き込み禁止になっているとき

**4** [ 開始 ] をクリックする

- 手順 *1* で指定したフォルダーに手順 *3* で指定したフォルダーが結合され、フォルダー内のクリップが結合先に集められます。
- ファイル分割されていたクリップは自動的に連結し、1つのクリップとして利用できます。

### ■ フォルダーが結合されないときは

以下に示す状況では、フォルダーは結合されず、メッセージが表示されます。

- 結合先フォルダーの容量が不足している。
- 結合元または結合先フォルダーに対する書き込みの権限がない。
- 結合元または結合先フォルダーが書き込み禁止になっている。
- 同じクリップが複数存在する。

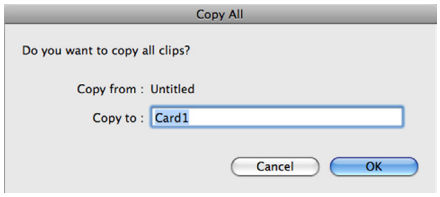
## メディアやフォルダー内のクリップをまとめてコピーする

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ ) を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウでコピー元のメディアまたはフォルダーを選択する

**2** もう一方の情報ウィンドウでコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する

**3** コピー元の情報ウィンドウをアクティブにして、[ 編集 ] メニューで [ 全コピー ] を選択するか、ツールボタンの全コピーをクリックする

● [Clip 全コピー ] ダイアログが表示されます。




**4** [ コピー元 : ] と [ コピー先 : ] の表示を確認して、コピーを実行する場合は [OK] をクリックする
コピーを中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする

### ■ コピー先を変更するには

[ コピー先 : ] ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

- コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

### ■ コピーを中断するには

ダイアログ上の [ キャンセル ] をクリックします。

### ■ コピーが実行できないときは

以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。

- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- コピーするクリップが保存されているメディア / フォルダーまたはコピー先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。

# クリップの操作

ご注意:
- 処理の実行中は、必ず次の事項をお守りください。
  - コンピューターおよびメディアドライブの電源を切らないでください。
  - 対象となるフォルダーを Finder などで削除しないでください。
  - 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。
  - ロックされたフォルダーやファイルは操作できません。

## クリップをコピーする

メディア内またはコンピューター上でクリップを複製したり、メディアとコンピューター間でクリップをコピーすることができます。

### 1 [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ) を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウにコピーするクリップを表示する

### 2 もう一方の情報ウィンドウでクリップのコピー先となるメディアまたはフォルダーを選択する

■ 新規のフォルダーにコピーしたいときは
コピー先となるメディアやフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

メモ:
- 操作については、[ フォルダーを作成する ] (☞32 ページ) をご覧ください。

### 3 コピー元の操作ウィンドウで、コピーしたいクリップをクリックして選択する

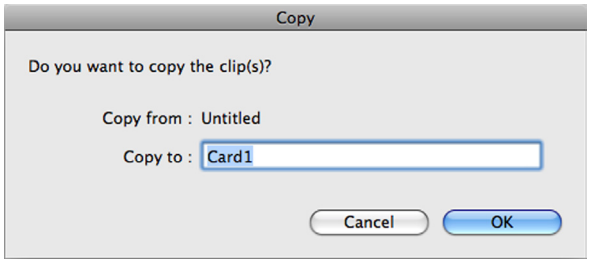
■ 複数のクリップを選択するには
shift キーを押したままクリップを順にクリックします。

ご注意:
- 未登録のクリップや、異常クリップを選択してもコピーできません。

### 4 次のいずれかの操作を行う

- コピーしたいクリップを、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上にドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- [ 編集 ] メニューで [ コピー] を選択し、コピー先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから [ 編集 ] メニューで [ 貼り付け ] を選択する。

コピーを実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。




### 5 [ コピー元 : ] と [ コピー先 : ] の表示を確認して、コピーを実行する場合は [OK] をクリックする
### コピーを中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする

コピーを開始すると、コピーの進捗状況を示すダイアログが表示されます。

ご注意:
- いったんコピーが完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

■ コピー先を変更するには
[ コピー先 : ] ボックスをクリックして反転表示にし、コピー先に指定したいフォルダー名を入力します。

■ コピーを中断するには
ダイアログ上の [ キャンセル ] をクリックします。

■ コピーが実行できないときは
以下に示す状況では、コピーが実行されず、メッセージが表示されます。

- コピー先の容量が不足している。
- コピー先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- コピー先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- コピー先のメディア/フォルダーが書き込み禁止になっている。

## クリップを移動する

メディア内またはコンピューター上でクリップを移動したり、メディアとコンピューター間でクリップを移動することができます。

**ご注意:**

- 本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも移動されます。

### *1* [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ ) を参照し、いずれか一方の情報ウィンドウに移動するクリップを表示する

### *2* もう一方の情報ウィンドウでクリップの移動先となるメディアまたはフォルダーを選択する

**■ 新規のフォルダーに移動したいときは**

移動先となるメディアや移動先のフォルダー内に新規フォルダーを作成しておきます。

**メモ:**

- 操作については、[ フォルダーを作成する ] (☞32 ページ ) をご覧ください。

### *3* 移動元の情報ウィンドウで、移動したいクリップをクリックして選択する

**■ 複数のクリップを選択するには**

shift キーを押したままクリップを順にクリックします。

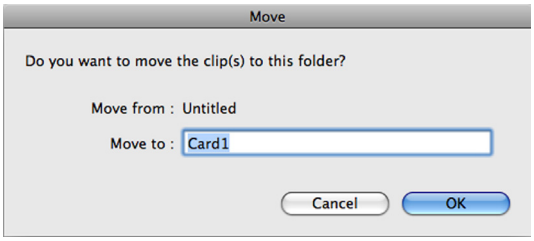
**ご注意:**

- 未登録のクリップや、異常クリップを選択しても移動できません。

### *4* 次のいずれかの操作を行う

- 移動したいクリップを、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウ上に、option キーを押したままドラッグし、リスト表示部内にドロップする。
- [ 編集 ] メニューで [ カット ] を選択し、移動先のメディア / フォルダーの内容が表示された情報ウィンドウをクリックしてから [ 編集 ] メニューで [ 貼り付け ] を選択する。

移動を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。




### *5* [ 移動元 : ] と [ 移動先 : ] の表示を確認して、移動を実行する場合は [OK] をクリックする
### 移動を中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする

**ご注意:**

- いったん移動が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。
- 移動中に本ソフトウェアを終了しないようにしてください。本ソフトウェアが終了すると、クリップと付加情報（メタデータ）との関連性が失われる可能性があります。また、分割クリップの連結情報が失われたり、異常クリップになる可能性があります。重要なクリップの場合は、コピーしてからコピー元を削除する方法で移動することをおすすめします。

**■ 移動先を変更するには**

- [ 移動先 : ] ボックスをクリックして反転表示にし、移動先に指定したいフォルダー名を入力します。
- 移動を開始すると、移動の進捗状況を示すダイアログが表示されます。

**■ 移動を中断するには**

ダイアログ上の [ キャンセル ] をクリックします。

**■ 移動が実行できないときは**

以下に示す状況では、移動が実行されず、メッセージが表示されます。

- 移動先の容量が不足している。
- 移動先に同じクリップがすでに存在する。タイトルが異なっていても、画像に付けられた ID（UMID）が同じであれば、同じクリップと認識されます。
- 移動するクリップが保存されているメディア/フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 移動するクリップが保存されているメディア/フォルダーまたは移動先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

# クリップの操作（つづき）

## クリップを削除する

ご注意:
- 本ソフトウェアでは、OK マーク付きクリップも削除されます。

**1** [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ) を参照し、削除するクリップを表示する

**2** 削除したいクリップをクリックして選択する

■ 複数のクリップを選択するには
shift キーを押したままクリップを順にクリックします。

**3** 次のいずれかの操作を行う

- コマンドキーを押したまま delete キーを押す。
- [ 編集 ] メニューで [ 削除 ] を選択する。

削除を実行するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

**4** 削除を実行する場合は [OK] をクリック、削除を中止する場合は [ キャンセル ] をクリックする

ご注意:
- いったん削除が完了したら操作を取り消す（アンドゥを実行する）ことはできません。

■ 削除が実行できないときは
以下に示す状況では、削除が実行されず、メッセージが表示されます。

- 削除するクリップが保存されているメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- 削除するクリップが保存されているメディア/フォルダーが書き込み禁止になっている。

## 分割されたクリップを連結する

長時間にわたる撮影 / 記録のために複数のメディアに分割して記録されたクリップを、コピー、移動、またはフォルダー結合によって仮想的に連結することができます。連結したクリップは、1 つのクリップとして利用できます。

■ 分割されたクリップの連結手順例

**1** 分割されたクリップが保存されたメディアをそれぞれ別名（Media1, Media2, Media3, など）のフォルダーにコピー、あるいは移動する

- 各フォルダーは同じルートフォルダ上に作成してください。

**2** Media1のフォルダーにMedia2, Media3を[フォルダーを結合する ] (☞35 ページ ) の手順に従って結合します。

**3** 分割されたクリップがMedia1フォルダー上に仮想的に連結され、一つのサムネイルとして表示されます。

メモ:
それぞれの操作について詳しくは下記をご覧ください。
- [ クリップをコピーする ] (☞36 ページ )
- [ クリップを移動する ] (☞37 ページ )
- [ フォルダーを結合する ] (☞35 ページ )

ご注意:
- 時間軸上で連続していない分割クリップは連結されません。
- 未登録クリップや異常クリップは連結されません。
- 連結の関連付けはファイル名ではなくUMIDを参照して行われます。UMID が書き変えられているクリップは連結されません

## クリップをインポートする

本ソフトウェアでは、単独の MP4 ファイルは認識されません。このような未登録クリップをインポートして、本ソフトウェアで取り扱うことができます。

### *1* [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31ページ ) を参照して、インポート先のメディアまたはフォルダーを選択する

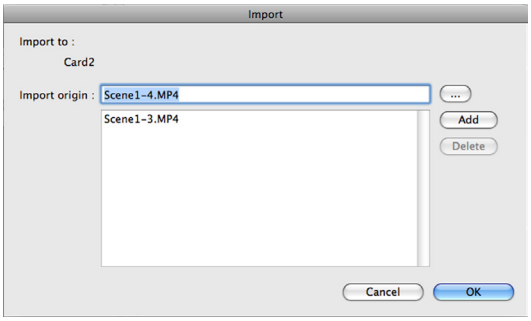
### *2* 次のいずれかの操作を行なってインポートする MP4 ファイルを選択する

**■ インポート先のリスト表示部にインポートするMP4ファイルが未登録クリップとして一覧表示されている場合**

- サムネイルなどの一覧表示から未登録クリップを選択し、[ ファイル ] メニューで [ インポート ] を選択します。
- 選択したクリップがインポートリストに追加された状態で、インポートダイアログが表示されます。
- 手順 ***6*** に進んでください。

**■ リスト表示部で未登録クリップを指定しない場合**

- [ ファイル ] メニューで [ インポート ] を選択します。
- インポートダイアログが表示されます。
- 手順 ***3*** に進んでください。




### *3* [...]をクリックしてフォルダーの参照ウィンドウを開き、インポートする MP4 ファイルを指定する

- 指定したファイルが [ インポート元 ] エディットボックスに表示されます。

**ご注意:**

- 4GB 以上のファイルを選択すると、インポートできません。

### *4* [ 追加 ] をクリックして、ファイルをリストに追加する

### *5* 手順 *3*、*4* を繰り返し、インポートするファイルをすべてリストに表示する

**■ リストからファイルを削除するには**

削除したいファイルを選択して、[ 削除 ] をクリックします。

### *6* [shift] をクリックして、インポートを開始する

- インポートを開始する前にダイアログに表示されているインポート先のフォルダーが正しいか確認してください。
- インポートが完了すると、未登録クリップが通常のクリップに変換されます。
- インポートクリップには、🡄 マークが表示されます。(☞ 29 ページ )

**■ インポートが実行できないときは**

以下に示す状況では、インポートが実行されず、メッセージが表示されます。

- インポート先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- インポート先のメディア / フォルダーが書き込み禁止になっている。

**メモ:**

- 未登録クリップとは？

  本ソフトウェアで取り扱われるファイルフォーマットにはクリップ登録情報を管理しているファイルがあります。このファイルに登録されていない MP4 ファイルが未登録クリップです。クリップを登録するのは手動ではできませんので、必ず本ソフトウェアのインポート機能を使って登録してください。
- 未登録クリップとしてリスト表示部に表示させるためには？

  インポート先のメディアまたは、フォルダーに BPAV フォルダーがあり、MP4 ファイルが BPAV フォルダーの下の CLPR フォルダーの中にあると、クリップアイコンに “ ? ” マークがついて一覧表示されます。CLPR 以外の場所にある場合は、一覧表示を行なっても表示に出てきません。

**ご注意:**

- インポートされたクリップのプロパティは自動で設定されます。
- インポートされたクリップのタイムコードは 00:00:00:00 から開始されます。
- インポートされたクリップは、お使いの機器で再生できない場合があります。

# クリップの操作（つづき）

## クリップをエクスポートする

MP4 ファイルを MPEG-2 TS フォーマットに変換してエクスポートすることができます。

- MPEG-2 TS エクスポートは、以下のように SP モードで記録されたクリップにのみ対応しています。
  - SP 1440x1080　59.94 インターレース
  - SP 1440x1080　50 インターレース
  - SP 1280x720　60 プログレッシブ
  - SP 1280x720　50 プログレッシブ
  - SP 1280x720　30 プログレッシブ
  - SP 1280x720　25 プログレッシブ
  - SP 1280x720　24 プログレッシブ
- 変換されたクリップは、“M2T” という拡張子のファイルになります。

### *1* [作業対象メディア/フォルダーの選択] (☞31 ページ) を参照して、エクスポートするクリップを表示する

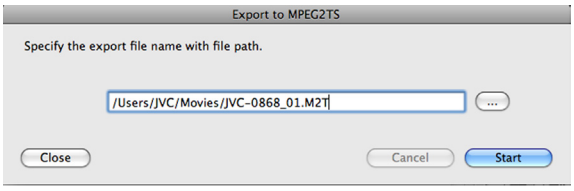
### *2* エクスポートしたいクリップをクリックして選択する

**■ 複数のクリップを選択するには**

shift キーを押したままクリップを順にクリックします。

### *3* ファイルメニューで [ エクスポート ]➡[MPEG-2 TS] を順に選択する

- [Expot to MPEG-2 TS] ダイアログが表示されます。現在選択しているドライブまたは開いているフォルダーの名前と作成されるクリップの名前がパスとして表示されます。（クリップの名前は自動設定されます。）




**■ エクスポート先のフォルダーやクリップの名前を変更するには**

エディットボックスをクリックしてパス表示を反転表示にし、希望のフォルダー名とファイル名を入力します。

[...] をクリックしてフォルダの参照ウィンドウを開き、エクスポート先のフォルダーを選択することもできます。

手順 **2** で複数のクリップを選択したときは、フォルダー名を指定します。

### *4* [ 開始 ] をクリックして、エクスポートを開始する

**エクスポートを中断するには**

- [キャンセル]をクリックし、[閉じる]をクリックしてダイアログを閉じます。
- 複数のクリップを選択している場合、[ キャンセル ] をクリックするより前にエクスポートが完了したクリップは、エクスポート先のメディア / フォルダーから削除されません。

エクスポートが完了すると、ダイアログが閉じ、エクスポート先のメディア / フォルダーの内容が自動的に表示されます。

**■ エクスポートが実行できないときは**

以下に示す状況では、エクスポートが実行されません。

- エクスポート先のメディア/フォルダーに対する削除や書き込みの権限がない。
- エクスポート先のメディア/フォルダーが書き込み禁止になっている。
- 選択されたクリップに HQ モードが含まれている。（ファイルメニューで [ エクスポート ] を選択しても [MPEG-2 TS] が選択できません）

**ご注意：**

- エクスポート先に FAT32 フォーマットのメディアが選択された場合、4GB 以上のクリップをエクスポートすると変換エラーが発生してエクスポートを停止する場合があります。大容量ファイルに対応したフォーマットのメディアをご使用ください。

## クリップの内容をプレビューする

Viewer ウィンドウのスクリーンでクリップの内容をプレビューすることができます。
コンピューターに全画面表示することもできます。

メモ:

- Viewer ウィンドウにはいくつかの制約事項があります。詳しくは、[Viewer（ビューアー）ウィンドウ ] (☞30 ページ ) をご覧ください。

### ■ Viewer ウィンドウにクリップを表示するには

いずれかの情報ウィンドウのリスト表示部にプレビューしたいクリップを表示し、ダブルクリックします。

- Viewer ウィンドウ上でクリップの再生が始まります。
- 再生を停止するには停止ボタンをクリックします。
- スクリーンの下に、クリップの現在位置のタイムコード（またはカウンター値）と、クリップのデュレーション（DUR）が表示されます。

### ■ プレビューの操作をするには

次のいずれかの方法により、Viewer ウィンドウ上に表示されたクリップに対して再生、サーチなどの操作を行うことができます。

- Viewer ウィンドウ上のプレビュー操作ボタン (☞ 28 ページ ) をクリックする。
- [ ビューアー] メニューで [ 再生制御 ] を選択し、実行したい操作項目を選択する。
- ポジションバーをドラッグする。

### ■ スクリーンを全画面表示にするには

- スクリーンにクリップを表示した状態で、スクリーンをダブルクリックするか、[ ビューアー ] メニューの [ 表示 ] ➡[ 全画面 ] を順に選択します。
- スクリーンを元のサイズに戻すには、スクリーン上をダブルクリックするか、Esc キーを押します。

## クリップの代表画を変更する

クリップのプレビュー中に、サムネイルで表示されるクリップの代表画を変更することができます。

**1** クリップを再生して、代表画に設定したいフレーム位置でとめる

**2** [Index Picture] ボタンをクリックするか、[ ビューアー ] メニューで [ 編集 ]➡[ 代表画 ] を順に選択する

- 現在表示しているフレームが、プレビューしているクリップの代表画になります。

ご注意:

- メディアに保存されたクリップをプレビューしている場合は、操作中にメディアを取り出さないでください。
- 操作中に電源が切れないよう注意してください。
- 代表画を変更したクリップをレコーダーまたはカメラレコーダーで使用しても指定した代表画にならない場合があります。

# クリップの操作（つづき）

## クリップを検索する

プレビューするクリップが見つからないときに、クリップのタイトルやコメント、クリップの撮影日時に基づいて、クリップを絞り込むことができます。

### 1 次のいずれかの操作を行う

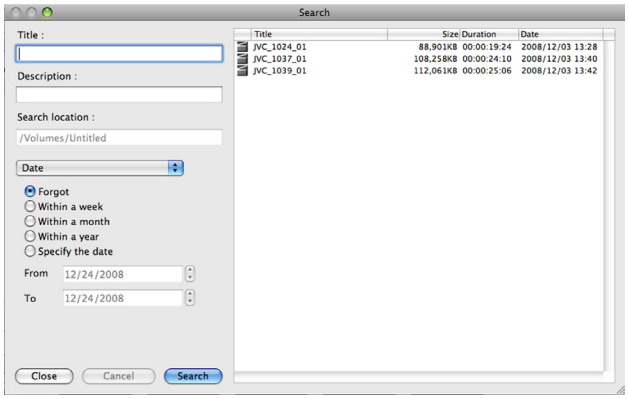
- 操作ウィンドウのツリー表示部で、検索したいクリップが存在しているドライブまたはフォルダーを選択する。
- [表示]メニューで[ルートフォルダー変更]を選択するか、ツールボタンのルートフォルダー変更をクリックしてルートフォルダー変更ウィンドウを開き、検索したいクリップが存在しているメディアまたはフォルダーを選択する。

メディアまたは選択したフォルダーに保存されているクリップやフォルダーが、リスト表示部に一覧表示されます。

### 2 次のいずれかの操作を行う

- [ 表示 ] メニューで [ 検索 ] を選択する。
- ツールボタンの検索ボタン（ ）をクリックする。

検索ダイアログが表示されます。[ 探す場所 ] のボックスには、現在選択しているフォルダーのパスが表示されます。




### 3 クリップの検索条件を、次の中から最低 1 つ指定する

- [Title]（タイトル）のボックスに、タイトルの一部または全体を入力する。
- [Description]（コメント）のボックスに、コメント一部または全体を入力する。
- [ 撮影日 ] のボタンとリストボックスを使って、クリップが撮影された日時を指定する。

### 4 [ 検索 ] をクリックする

- 手順 **3** で指定した条件に該当するクリップが、検索ダイアログ内に一覧表示されます。
- プレビューしたいクリップをダブルクリックすると、クリップが Viewer ウィンドウに表示され、再生が始まります。
- また、操作ウィンドウのツリー表示部では、プレビューしているクリップが保存されているフォルダーがリスト表示部に表示されます。

**ご注意：**

- 検索実行中は、必ず次の事項をお守りください。
  - 対象となるフォルダーを削除しないでください。
  - 対象となるメディアを取り出したり、抜いたりしないでください。

## クリップの情報を参照する

クリップのプロパティウィンドウを表示して、クリップの情報を見ることができます。

**ご注意：**

- ソフトウェアの動作環境に応じて文字コードに対応するフォントを選択していないと、文字化けが生じます。あらかじめ適切なフォントを選択してください。

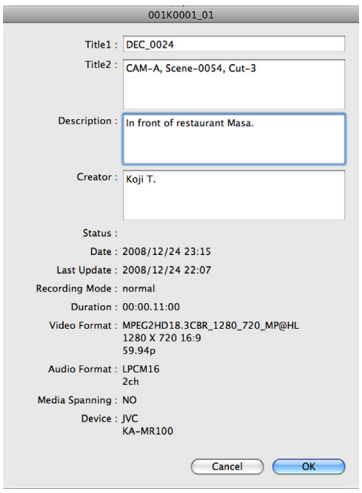
### ■ プロパティウィンドウを表示するには

### 1 [作業対象メディア/フォルダーの選択]（☞31ページ）を参照して、情報を見たいクリップを表示する

### 2 情報を参照したいクリップをクリックして選択する

### 3 [ 編集 ] メニューで [ プロパティ ] を選択する

- [ プロパティ ] ウィンドウが表示されます。



## クリップの情報を参照する ( つづき )

### ■ [ プロパティ ] ウィンドウに表示される情報

次表に示す情報が表示されます。[Title1]、[Title2]、[Description] の内容を変更することができます。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| Title1（タイトル） | リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。([Title2] が設定されているときは [Title2] が表示される。)<br>英数字および記号を 63 文字まで入力可能（改行不可）。<br>使用可能な記号：スペース、−、+、# |
| Title2（サブタイトル） | リスト表示部に、クリップのタイトルとして表示される。<br>127 バイトまでの範囲で入力可能（マルチランゲージ対応）。<br>英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する。<br>(通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用) |
| Description（コメント） | 任意のコメントを 2047 バイトまでの範囲で入力可能。<br>(マルチランゲージ対応)<br>英数字で 2047 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する。<br>(通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用) |
| Creator（作成者） | クリップの作成者の情報。<br>127 バイトまでの範囲で入力可能。(マルチランゲージ対応)<br>英数字で 127 文字、マルチランゲージの場合 UTF-8 を使用する。<br>(通常は 1 文字で 1 ～ 3 バイト使用) |
| Status（ステータス） | クリップに OK マークが付いている場合は、[OK] が表示される。OK マークが付いていない場合は何も表示されない。(☞ 29 ページ ) |
| Date（作成日時） | クリップの作成日時 |
| Last Update（最終更新日） | クリップの最終更新日<br>クリップのコピーや移動、連結を行なったり、タイトルやコメント、代表画を変更した場合も更新される。 |
| Recording Mode（記録モード） | クリップを作成したときの機器の動作モード<br>Normal　：通常記録<br>Slow&QuickMotion　：スローアンドクイックモーション<br>**メモ:**<br>● 各モードについて詳しくは、お使いの機器の [ 取扱説明書 ] をご覧ください。 |
| Duration（デュレーション） | クリップ長を時：分：秒：フレームで表示 |
| Video Format（ビデオフォーマット） | ビデオの記録フォーマットの詳細情報 |
| Audio Format（オーディオフォーマット） | オーディオの記録フォーマットの詳細情報 |
| Media Spanning（メディアの分割） | 分割されたクリップの場合は [Yes]、分割されていない場合は [No] を表示 |
| Device（デバイス） | 記録機の情報 |

### ■ 表示内容を変更したときは

- [OK] をクリックして変更内容を保存します。
- 変更内容を破棄するときは、[ キャンセル ] をクリックします。

# 付録

## 記録フォーマットと記録フォルダーについて

### ■ 記録フォーマット

本ソフトウェアは、MP4 ファイルフォーマットに対応しています。このフォーマットの仕様は次のとおりです。

- フォルダーの名前と構成は、次項の図のように決められている。
- ファイルには各ファイルやフォルダー間のリンクに関する情報が記録されている。

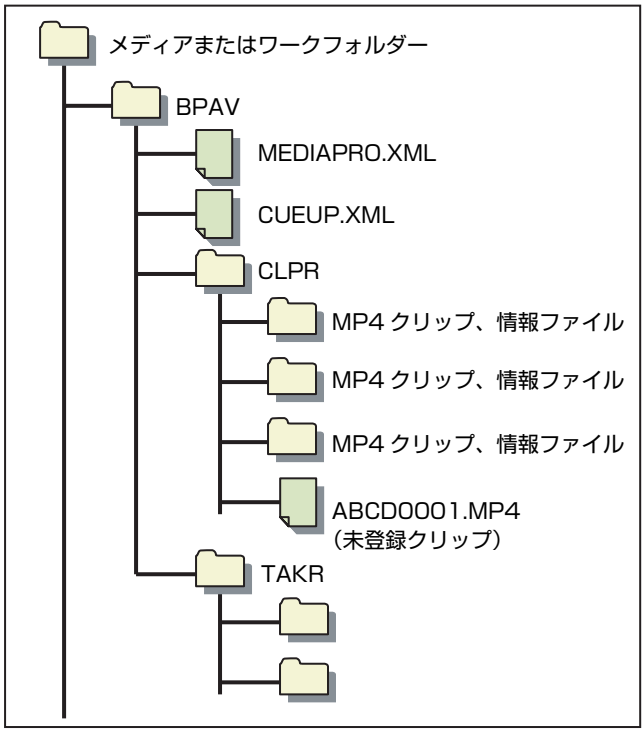
ご注意:

- JVC ProHD Clip Manager 以外のアプリケーションを使用して、ファイルを編集したり、ファイルやフォルダーに対して削除、移動、名前の変更などの操作をしたりしないでください。このフォーマットの仕様に従わないファイルは、ProHD シリーズの機器や本ソフトウェアで認識できなくなります。

### ■ 記録フォルダー

映像や付加情報を記録するフォルダーは、次図のような階層構造になっています。

BPAV フォルダー以下を 1 つのまとまりとして扱います。




メモ:

- ワークフォルダーを Finder で開くと、BPAV フォルダーが 1 つだけ存在します。
- コピーやバックアップを行うときは、BPAV フォルダー以下を選択してください。
- 本ソフトウェアのツリー表示部でワークフォルダーを選択すると、BPAV フォルダーに登録されたクリップの一覧がリスト表示部に表示されます。AV データは CLPR フォルダーの下のフォルダー内に存在します。
- SxS メモリーカードを使用するレコーダー機器 (KA-MR100G) の場合は、メディアのルートフォルダーの下に BPAV フォルダーを作成します。
- SDHC メモリーカードを使用するレコーダー機器の場合は、メディアのルートフォルダーの下に PRIVATE/JVC/ フォルダーがあり、その下に BPAV フォルダーを作成します。
- MP4ファイルをCLPRフォルダーの下にコピーしておくと、CLPR フォルダーの属する BPAV フォルダーをサムネイルまたは一覧表示したとき、リスト表示部に未登録の MP4 クリップ表示が現れます。
- CLPR フォルダーの下にある MP4 ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そのフォルダー内に MP4 ファイルが移動します。
- 他のフォルダーからMP4ファイルの未登録クリップをインポートすると、CLPR フォルダーの下に新たにフォルダーが作成され、そこにインポートされたクリップがコピーされます。フォルダー名は自動的に付けられます。
- 1 つの記録フォルダー内には最大で 600 個のクリップが登録できます。

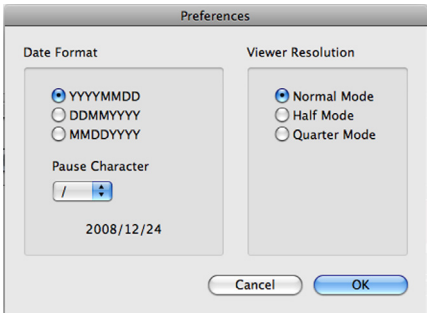
ご注意:

- フォルダー名やファイル名はメタデータファイルと連携しているため、変更しないでください。

## 環境設定

[ 環境設定 ] ダイアログで、本ソフトウェアに関する環境設定を行います。

[ 環境設定 ] ダイアログを開くには、[XDCAM EX Clip Browser] のメニューで [ 環境設定 ] を選択します。




| | |
|---|---|
| Date Format | 日付の表示形式を選択します。YYYY は西暦、MM は月、DD は日を表しています。<br>さらに [Pause Character] リストボックスで年月日の区切り記号を指定することができます。リストボックスの下には、選択されている形式が現在の日付で表示されます。 |
| 解像度設定 | 再生の解像度を設定します。<br>“ 1/2 解像度 ” または “ 1/4 解像度 ” に設定するとプレビュー画質は低下しますが、再生時のデコーダーの負荷が低減するため、再生レスポンスは向上します。CPU の性能が充分ではないコンピューターで再生するときは、これらの解像度に変更することをおすすめします。 |

ご注意:

- Mac OS では、表示言語の切り換えは OS の機能に依存します。

# 付録 ( つづき )

## ショートカットキー一覧

本ソフトウェアでは、キーボードで操作できる機能があります。
以下にショートカットキーの一覧をメニューの機能ごとに示します。表の [ 操作 ] 欄で、キーボードのあるキーを押したまま別のキーを押すときは、[ コマンド+ N] のようにキーの名前を [+] 記号でつないで示します。

### 特殊キー表記について

本書では、キーボードの特殊キーを次のように表記します。

| シンボル | 本書での表記 | シンボル | 本書での表記 |
|---|---|---|---|
| ⌘ | コマンド | ^ | control |
| ⇧ | shift | ↩ | return |
| ⌥ | option | | |

### ■ JVC ProHD Clip Manager メニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 環境設定 | コマンド+ , | 本ソフトウェアに関する環境設定を行う。 | ☞ 45 ページ |
| JVC ProHD Clip Manager を隠す | コマンド+ H | 本ソフトウェアを隠す / 表示する。 | — |
| 他を隠す | option +コマンド+ H | 本ソフトウェア以外のアプリケーションを隠す / 表示する。 | — |
| JVC ProHD Clip Manager を終了 | コマンド+ Q | 本ソフトウェアを終了する。 | ☞ 27 ページ |

### ■ ファイルメニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| フォルダー名変更 | option +コマンド+ R | 選択したフォルダーの名前を変更する。 | ☞ 33 ページ |
| フォルダー作成 | shift +コマンド+ N | メディアまたはフォルダー内にフォルダーを作成する。 | ☞ 32 ページ |
| 保存フォルダーを開く | コマンド+ N | Finder を起動し、現在選択しているフォルダーを開く。 | ☞ 33 ページ |
| インポート | shift +コマンド+ M | MP4 ファイル（未登録クリップ）をインポートする。 | ☞ 39 ページ |

### ■ 編集メニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 全コピー | option +コマンド+ C | メディアまたはフォルダー内のクリップをすべてコピーする。 | ☞ 35 ページ |
| カット | コマンド+ X | 選択したクリップをカットする（切り取る）。 | ☞ 37 ページ |
| コピー | コマンド+ C | 選択したクリップをコピーする。 | ☞ 36 ページ |
| 貼り付け | コマンド+ V | カットまたはコピーしたクリップを貼り付ける。 | ☞ 36 ページ<br>☞ 37 ページ |
| 削除 | コマンド+ delete | 選択したクリップを削除する。 | ☞ 38 ページ |
| 全てを選択 | コマンド+ A | メディアまたはフォルダー内のクリップをすべて選択する。 | — |
| プロパティ | コマンド+ I | 選択したクリップのプロパティウィンドウを表示する。 | ☞ 42 ページ |
| フォルダー分割 | shift +コマンド+ W | 選択したフォルダーを、指定したサイズで分割する。 | ☞ 34 ページ |
| フォルダー結合 | shift +コマンド+ J | 選択したフォルダーに、指定した別のフォルダーを結合する。 | ☞ 35 ページ |
| 特殊文字 | option +コマンド+ T | 文字パレットを開き、特殊文字と記号の挿入を可能にする。 | — |

■ 表示メニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| ルートフォルダー変更 | shift + option +コマンド+ W | ツリー表示部のルートフォルダーを変更する。 | ☞ 32 ページ |
| 上へ | コマンド+ ↑ | 1 つ上のフォルダーへ移動する。 | ☞ 31 ページ |
| アイコンの整列 >Title | shift + option +コマンド+ N | リスト表示部のクリップを、タイトルをキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | ☞ 29 ページ |
| アイコンの整列 >Size | shift + option +コマンド+ S | リスト表示部のクリップを、サイズをキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | |
| アイコンの整列 >Duration | shift + option +コマンド+ D | リスト表示部のクリップを、デュレーションをキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | |
| アイコンの整列 >Date | shift + option +コマンド+ C | リスト表示部のクリップを、撮影日時をキーにして昇順 / 降順に並べ換える。 | |
| 検索 | コマンド+ F | クリップを検索する。 | ☞ 42 ページ |

■ ビューアーメニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 再生制御 > 再生 | スペース | 再生を開始する。 | ☞ 30 ページ |
| 再生制御 > 停止 | スペース | 現在位置で動作を停止する。 | |
| 再生制御 > 早送り | F | 現在位置より後ろをサーチする（早送り）。 | |
| 再生制御 > 巻き戻し | R | 現在位置より前をサーチする（巻き戻し）。 | |
| 再生制御 > 先頭へ | ↑ | クリップの先頭フレームへ移動する。 | |
| 再生制御 > 終端へ | ↓ | クリップの最終フレームへ移動する。 | |
| 再生制御 >+1 Frame | → | 1 フレーム進む。 | |
| 再生制御 > − 1 Frame | ← | 1 フレーム戻る。 | |
| 表示 > 全画面 | コマンド+ return | スクリーンを全画面表示にする。 | ☞ 41 ページ |

■ ウィンドウメニュー

| コマンド名 | 操作 | 機能 | 参照先 |
|---|---|---|---|
| しまう | コマンド+ M | アクティブなウィンドウを最小化する。 | — |
| 表示位置の初期化 | option +コマンド+ E | 操作ウィンドウの表示位置とサイズを初期状態に戻す。 | ☞ 29 ページ |

# 付録（つづき）

本ソフトウェアでは、GNU Lesser General Public License（LGPL）を使用しています。
ライブラリー名：FFMPEG

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品は以下の LGPL 適用ソフトウェアを使用しており、お客様にはこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

FFMPEG
- avcodec-51.dll
- avformat-51.dll
- avutil-49.dll

これらのソースコードは、付属の CD-ROM の / Software/ClipManager/SRC フォルダー内に収録されています。
また、以下のホームページからダウンロードすることもできます。
http://www.jvc-victor.co.jp/download/lnx/06jvc_pro/jvc_pro_linux_download_page.html

なお、ソースコードの内容についてのお問い合わせはご遠慮ください。

FFmpeg は FFmpeg プロジェクトの創始者である Fabrice Bellard の商標です。

JVC ProHD Clip Manager


お客様ご相談センター

0120－2828－17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950［代表］

FAX (045)450-2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12


ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。


ビクターホームページ http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　　電話（042）660-7245



LST0857-001B



© 2009 Victor Company of Japan, Limited